

## (1) 大学・学科の設置理念

## ①大学

大学の教育理念は、21世紀における知的基盤社会を支える豊かな教養と専門性を兼ね備えた市民を育成するための教育を追求することである。教養教育を人間形成の中心的な役割を担う教育の根幹と位置付け、すべての学生が豊かな教養を体系的に身に付けることができる教育を基準として、教育課程ごとの目的に沿った専門教育の実質化を図り、カリキュラム改革や教育実践の充実を通して教育の質を高め、入学前から就職後まで充実した教育支援プログラムを提供することを目指している。

## ②教育学部共同教員養成課程

佐賀大学教育学部共同教員養成課程・熊本大学教育学部共同教員養成課程の設置理念は、「幼児・児童・生徒の心身の発達を長期的・連続的かつ多面的・多角的な視点から理解し支援するための確かな専門性と、現代社会の複雑で多様な教育課題に柔軟に対応できるしなやかな実践力を兼ね備えた、人間性の豊かな学校教員の養成」である。

2大学の連携による共同教員養成課程で、幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教員免許を提供するとともに、共同によるそれぞれの強みと特色を活かし、相乗効果を高めながら質の高い教員養成を実現し、佐賀・熊本両県の義務教育段階及び高等学校段階の教育並びに幼児教育、特別支援教育を担うことができる教員を輩出する中核となることを目指す。具体的には、以下の学修成果（学位授与方針）を備えた人材を養成する。

1. 現代社会における教育と子どもに関わる課題に取り組むために必要な、文化・社会・自然・生命に関する幅広い知識・技能を持ち、多面的な考察による解決法を提案できる。
2. 教員として求められる読解力・文章表現力・数的処理能力及びICTリテラシーや情報収集分析能力を身に付け、他者と協働しながら課題を解決するコミュニケーション力を備えている。
3. 学校教育、教職、教科についての基本的理論及び概念を説明することができ、子どもたちへの指導力の向上を常に探究し、子どもたちの発達段階や個性に応じた指導ができる。
4. 教科及び教科教育等に関する専門知識と技能を持ち、教育課題の発見と解決に取り組むことができる。
5. グローバル社会へ対応するため、異なる文化や価値観に対する多面的・多角的な思考力を教育活動に活かすことができる。
6. 学校教育の課題について地域社会と協働し、解決に取り組むことができる。
7. 教員としての倫理観と豊かな人間性を備え、使命感を持って子どもたちの成長を支えることができる。

## (2) 教員養成の目標・計画

## ①大学

## ・教員養成の目標

教員に求められる「教職に対する情熱や使命感」、「子ども理解・教材作成・学習指導などの専門的的力量」などの基礎的資質・能力の他、「対人関係調整能力やコミュニケーション能力」、「国際感覚」などの社会性、その上に豊かな人間性を備えた教員を養成することが佐賀大学の教員養成の目標である。

- ・教員養成の計画

教職課程の運営及び教職指導について全学的に検討するための組織体である佐賀大学教員養成カリキュラム委員会を中心に、大学、各学部・学科が策定する目標を達成することができるようカリキュラム編成を検討、実施している。

## ②教育学部共同教員養成課程

- ・教員養成の目標

佐賀大学教育学部共同教員養成課程・熊本大学教育学部共同教員養成課程では、佐賀・熊本両県における教員養成を目的とする課程であるという設置趣旨を踏まえ、教員としての広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とし、必要な基礎的・専門的な知識・技術を修得させ、幼児・児童・生徒の心身の発達を長期的かつ連続的な視点から見すえながら、現代社会の変化に伴う様々な教育課題に応えることができる「しなやかな教師力」をもった学校教員を育成する。

- ・教員養成の計画

佐賀大学教育学部共同教員養成課程・熊本大学教育学部共同教員養成課程では、両大学ともに小中連携教育コースに小学校教育主免専攻及び中学校教育主免専攻を、教育支援探究コースに発達支援専攻及び特別支援教育専攻を設置し、1年次からの教職・教科の専門的な学修とともに、教育委員会等と連携して地域の学校現場を体験し、教育実習を重ねて実践的な力量を高められるカリキュラムを編成し、両大学の強み・特色を活かした相乗効果により、現代社会の変化に伴う様々な教育課題に対応可能な教員を養成する。小中連携教育コースにおいては小学校の教科担任制や中1ギャップなどに対応できる資質・能力を育成し、小学校教育主免専攻では小学校教諭一種免許状に加え所属教科の中学校教諭二種免許状、中学校教育主免専攻では所属教科の中学校教諭一種免許状に加え小学校教諭二種免許状を取得させる。教育支援探究コース・発達支援専攻においては小1プロブレムなどに対応できる資質・能力を育成し、小学校教諭一種免許状に加え幼稚園教諭二種免許状等を取得させ、特別支援教育専攻では支援を要する児童生徒への対応ができる資質・能力を育成し、小学校教諭一種免許状に加え特別支援学校教諭一種免許状を取得させる。

佐賀大学では、佐賀県の教育課題に対応できる教員を養成することを目指す。佐賀県は特別支援クラスの割合が全国で最も高い地域であり、特別支援に強い教員の養成が求められていることから、特別支援教育専攻の学生のみならず、すべての学生に対して先端的教育科目の「LD等学習指導論」2単位を全学生の卒業のための必修科目とするとともに、佐賀県教育委員会と協議して「教職実践演習」2単位のうち特別支援教育に関する演習内容を毎年更新する。特別支援教育専攻の学生に対しては、推薦入試で合格した高校生には、入学前教育として特別支援教育に関する推薦図書購読を課して特別支援教育に対する関心を高めさせ、特別支援教育専攻のすべての学生が高度な資質能力を身につけられるように、3年次2月（他専攻は4年次）に障害児教育実習を実施するとともに、課外活動として、発達障害やギフテッド、不登校の子どもと保護者を対象とした学習会でのボランティア活動を毎月1回実施する。また、佐賀県が抱える様々な教育課題に対応できる教員の養成を目指し、佐賀県に愛着を持ち、佐賀県の良さを熟知した教員を養成するため、高等学校1年次からの高大連携教育プログラム「教師へのとびら」を実施し、入学後の「教師へのあゆみ」プログラムへとつなげてゆく。学校推薦型選抜（佐賀県枠）で入学する学生に対しては、佐賀県に関する知識や佐賀県の教育課題に対応した体験型カリキュラム「地域課題探求プログラム（仮称）」

(離島の学校訪問や小中一貫校での1年間の教育ボランティアなど)を実施する。いずれも佐賀県教育委員会との協力のもとにプログラムの構築・実施をする。

なお、熊本大学では、小中連携教育コース小学校教育主専攻において、地域の学校におけるICTを活用した遠隔授業の方法や児童生徒の情報活用能力を育成する指導法など、ICT教育の最新事情にも触れながら、教員の仕事について学修する「地域教育実践プログラム」を実施する。学校推薦型選抜(地域枠)で入学する学生に対し、熊本県の学校教育の状況や県内各地域の小学校の魅力伝えることを目的とする、熊本県教育委員会と連携した講義(「くまもとの学び最前線」)や熊本県球磨郡山江村の小学校における宿泊型教育実習を通して、少子高齢化が進む地域での教育の実際(少人数指導、複式学級指導等)を経験させることにより、将来的に熊本県の各地域の創生に資する資質・能力の高い小学校教員を養成する。また、教育のグローバル化に対応する教員養成の取組みとして「国際教育実践プログラム」を実施する。学校推薦型選抜(国際枠)で入学する学生に対し、日本の学習指導要領に基づいて英語と日本語で教授するイマージョン教育を実践形式で学ばせるとともに、日本語を母体とした外国人子女への実践教育や本学教育学部附属小中学校国際クラスや熊本県市の外国人児童を受け入れている拠点校での教育実習等を経験させ、一連の教育実習の総仕上げとして、台湾(台北市)のバイリンガル教育学校での授業運営の方法について一週間程度学修する国際教育実践プログラムを履修させることにより、教育の国際化に対応した小学校教員を養成する。

### (3) 認定を受けようとする課程の設置趣旨(学科等ごとに校種・免許教科別に記載)

#### ①教育学部共同教員養成課程

両大学の共同教員養成課程では、(1)及び(2)に記したとおり、令和の日本型学校教育を実現するために、地域の幼児段階、義務教育段階及び高等学校段階を支える資質・能力を備えた教員養成を目指している。そのため、以下の免許を取得するための教育課程を設置する。

#### ・幼稚園教諭一種免許状

幼稚園教育要領では幼児期の教育の重要性が指摘され、幼小連携を図ることが求められている。幼稚園と小学校の接続期の園児・児童の特性を理解し、適切な教育を行える資質・能力を獲得するためにも幼稚園教諭のための教育課程を設置する。

#### ・小学校教諭一種免許状

地域の義務教育を支える人材の育成は、両大学の教育学部のミッションであり、小学校全教科を確実に指導できる力量とともに、児童の特性を理解し柔軟な教育を可能とする教育課程を設置する。

#### ・中学校教諭一種免許状(国語)

小学校から高等学校までの一貫性に留意しつつ、中学校国語科の教科内容や指導方法について広く学び、質の高い授業実践力を備えた教師の養成を目指す。

#### ・中学校教諭一種免許状(社会)

人文・社会科学系の諸学問を総合的に学ぶとともに、社会科教員としての基本的な能力と資質を身につけ、社会科の学修を通して得られた実践力と豊かな人間性を備えた教師の養成を目指す。

#### ・中学校教諭一種免許状(数学)

数学は高度情報化社会の基盤であり、現代の課題における様々な場面での活用が期待され

ている。数学の本質を学ぶとともに、カリキュラム・教材・指導法等を通して教育としての数学のあり方を学び、学校現場で活躍できる能力を備えた教師の養成を目指す。

- ・中学校教諭一種免許状（理科）

科学の役割がますます重要になる一方で、次世代を担う子どもたちの「理科離れ」が指摘されている。自然科学の専門的な能力を身につけるとともに、科学的思考力や問題解決能力を養うための授業のあり方等について学び、子どもたちに理科のおもしろさを伝えられる教師の養成を目指す。

- ・中学校教諭一種免許状（音楽）

現在日本の抱える様々な問題を背景に、創造的心情、豊かな感受性と自己表現能力を育む「情操教育」の重要性が再認識されている。自ら音楽表現者の一人としてのコミュニケーション能力を身につけ、音楽の多様性を知り、それを伝達するのに必要な知識や技術を習得し、より実践的な音楽教師の養成を目指す。

- ・中学校教諭一種免許状（美術）

人が社会で生きていく上で不可欠な創造性、主体性、個性、感性さらには豊かな情操を育むため、単に知識や技能を教えるのではなく、表現や造形活動を通して、生徒のこころの発達段階に応じた的確な支援ができる美術教師の養成を目指す。

- ・中学校教諭一種免許状（保健体育）

子どもの健全な発達にとって、健康、そして運動は欠かすことのできないものであり、運動と理論の両面を理解することにより、運動の大切さや健康問題に関する意識を生徒に芽生えさせられるような実践指導力と豊かな人間性を兼ね備えた教師の養成を目指す。

- ・中学校教諭一種免許状（技術）

科学技術やものづくり、環境教育や情報教育等の教育内容に密着したカリキュラム・教育方法について深く学び、これからの社会を豊かに生きるために必要な知識やスキルを身につけ、科学技術力や課題解決能力を備えた教師の養成を目指す。

- ・中学校教諭一種免許状（家庭）

家族・家庭生活の多様化、社会のグローバル化や少子高齢社会の進展、持続可能な社会の構築など、様々な変化する私たちの生活を総合的に検討し、個人・家族のよりよい生活を目指すために、家族・家庭や日常生活に関する知識や技能を学ぶと同時に、社会の変化に対応した課題を見出し、解決する能力を持つ教師の養成を目指す。

- ・中学校教諭一種免許状（英語）

英語教育を通して国際化に貢献できる人材を輩出するため、英語4技能（聞く・話す・読む・書く）を身につけると同時に、英語そのものに関する深い知識や英語をとりまく文化に関して深く学び、高い英語運用力と授業実践力を備えた英語教師の養成を目指す。

- ・高等学校教諭一種免許状（国語）

小学校から高等学校までの一貫性に留意しつつ、高等学校国語科の教科内容や指導方法について広く学び、質の高い授業実践力を備えた教師の養成を目指す。

- ・高等学校教諭一種免許状（書道）

高等学校の芸術科（書道）の教科内容・カリキュラム・指導方法について広く学び、質の高い授業実践力を備えた教師の養成を目指す。

- ・高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

歴史学・地理学の学修を通して得られた実践力を備えた教師の養成を目指す。

- ・高等学校教諭一種免許状（公民）

法律学・経済学・社会学・哲学などの学修を通して得られた実践力を備えた教師の養成を目指す。

・高等学校教諭一種免許状（数学）

数学は高度情報化社会の基盤であり、現代の課題における様々な場面での活用が期待されている。数学の本質を学ぶとともに、カリキュラム・教材・指導法等を通して教育としての数学のあり方を学び、学校現場で活躍できる能力を備えた教師の養成を目指す。

・高等学校教諭一種免許状（理科）

物理・科学・生物・地学の自然科学の専門的な能力を深めるとともに、科学的思考力や問題解決能力を養うための授業のあり方などについて学び、自然科学の意義を伝えられる教師の養成を目指す。

・高等学校教諭一種免許状（音楽）

現在日本の抱える様々な問題を背景に、創造的心情、豊かな感受性と自己表現能力を育む「情操教育」の重要性が再認識されている。自ら音楽表現者の一人としてのコミュニケーション能力を身につけ、音楽の多様性を知り、それを伝達するのに必要な知識や技術を習得し、より実践的な音楽教師の養成を目指す。

・高等学校教諭一種免許状（美術）

人が社会で生きていく上で不可欠な創造性、主体性、個性、感性さらには豊かな情操を育むため、単に知識や技能を教えるのではなく、表現や造形活動を通して、生徒のこころの発達段階に応じた的確な支援ができる美術教師の養成を目指す。

・高等学校教諭一種免許状（保健体育）

共生社会の基盤として、運動・スポーツに関する知識や技術を学ぶことが期待されている。そこで、生徒が生涯にわたり心身の健康の保持・増進ができるようになるために、また、豊かなスポーツライフが実現できるようになるために必要な専門的な知識や技術を有し、より実践的な指導力と豊かな人間性を兼ね備えた教師の養成を目指す。

・高等学校教諭一種免許状（工業）

科学技術やものづくり、環境教育や情報教育等の教育内容に密着したカリキュラム・教育方法について深く学び、必要な知識やスキル、高度な実践力を身につけた教師の養成を目指す。

・高等学校教諭一種免許状（家庭）

家族・家庭生活の多様化、社会のグローバル化や少子高齢社会の進展、持続可能な社会の構築など、様々に変化する私たちの生活を総合的に検討し、個人・家族のよりよい生活を目指すために、家族・家庭や日常生活に関する知識や技能を学ぶと同時に、社会の変化に対応した課題を見出し、解決する能力を持つ教師の養成を目指す。

・高等学校教諭一種免許状（英語）

英語教育を通して国際化に貢献できる人材を輩出するため、英語4技能（聞く・話す・読む・書く）を身につけると同時に、英語そのものに関する深い知識や英語をとりまく文化に関して深く学び、高い英語運用力と授業実践力を備えた英語教師の養成を目指す。

・特別支援教諭一種免許状（知的障害者、肢体不自由者、病弱者）

特別支援学校のみならず、特別支援教育の対象となる子どもは、通常の学級の中にもかなり在籍しており、これからの学校教員は特別支援教育についての資質を兼ね備えている必要がある。インクルーシブ教育の充実・拡大が養成される現代において、特別支援教育に関する高度な実践力を身につけた教師の養成を目指す。

## I. 教職課程の運営に係る全学的組織及び各学科等の組織の状況

## (1) 各組織の概要

①

組織名称：	佐賀大学教員養成カリキュラム委員会
目的：	教職課程の運営及び教職指導について、全学的に検討すること
責任者：	副学長のうち学長が指名した者
構成員(役職・人数)：	委員長(副学長)1人、副委員長1人※(※委員の中から選出)、教育学部委員3人、芸術地域デザイン学部委員2人、経済学部委員2人、理工学部委員2人、農学部委員2人、学校教育学研究科委員1人、地域デザイン研究科委員1人、先進健康科学研究科委員1人、理工学研究科委員1人、農学研究科委員1人 計17人
運営方法：	委員会に教職科目部会、教科科目部会、教育実習部会及び教員養成カリキュラム評価部会を置き、上記審議事項を専門的に、当該部会において検討をする。また、必要に応じワーキングを設置し、全学的な実施体制を確立する等必要な支援に取り組む。

②

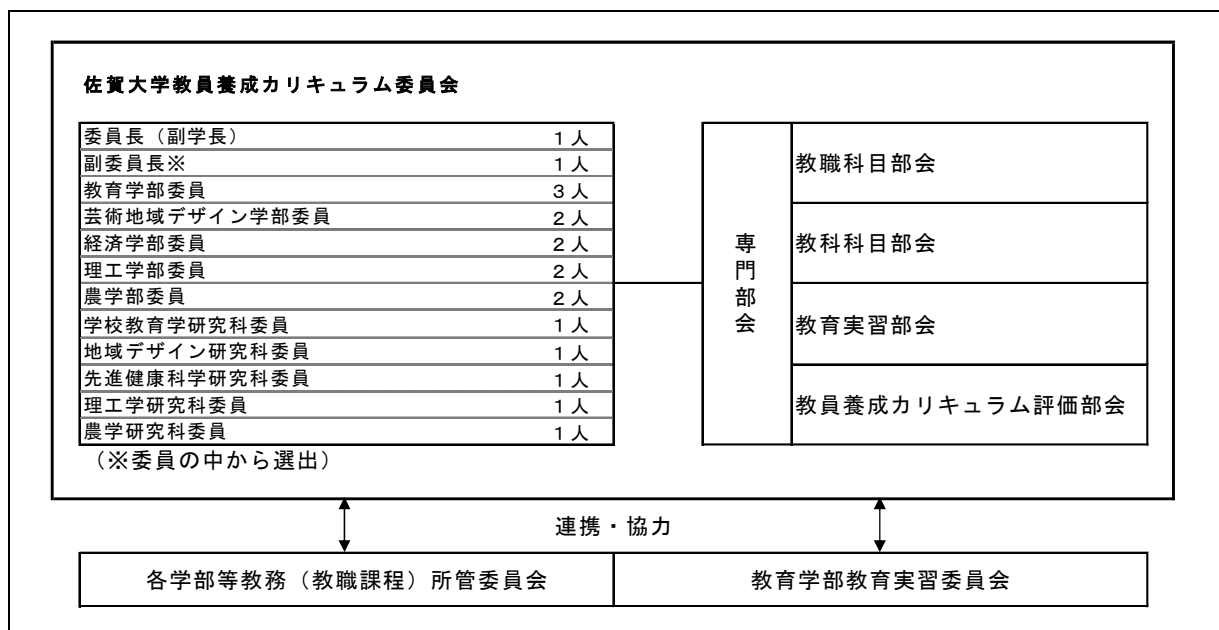
組織名称：	教育学部教育実習委員会
目的：	教育実習・介護等体験の企画・立案、教育学部学生の教育実習成績評価
責任者：	教育学部附属教育実践総合センター長
構成員(役職・人数)：	委員長(附属教育実践総合センター長)1人、副委員長2人※(※委員の中から選出)、副学部長(附属学校園統括長)1人、附属学校園統括長補佐3人、学部長指名1人、教育学部各グループ選出委員6人、附属学校園長4人、代用附属校主事3人 計19人
運営方法：	教育実習・介護等体験の企画・立案を行う。また、教育学部学生の教育実習生成績評価を行う。佐賀県及び佐賀市教育委員会と教育実習に関する連携・協力プロジェクトを行う。

③

組織名称：	教育学部教務委員会
目的：	教育学部における教務(教職課程指導を含む)全般を検討するため
責任者：	教育学部教務委員長
構成員(役職・人数)：	各講座から選出された委員(委員長含む)11人
運営方法：	教育学部の教務に関する企画・立案・連絡・調整、カリキュラムの改善やFDの推進を推進する学部内組織として教育学部教務委員会を置く。定例的な会議の開催と電子メールで常に情報交換を行う。決定事項等は教授会等で教員に周知し、必要に応じ改善が必要な事項に関する情報収集や教授会への改善提案などを行い、教育課程の改善につなげる。

## 様式第7号イ

## (2) (1) で記載した個々の組織の関係図



## II. 都道府県及び市区町村教育委員会、学校、地域社会等との連携、協力に関する取組

## (1) 教育委員会との人事交流・学校現場の意見聴取等

## （教育委員会との人事交流について）

佐賀大学教育学部及び大学院学校教育学研究科と佐賀県教育委員会は、教員養成の充実・強化及び教育研究の一層の活性化を図ることを目的として、人事交流に関する協定を締結しており、人事交流者は教育学部における教育実習、教職に関する教育研究に従事している。

## （学校現場の意見聴取等）

教育学部の前身である文化教育学部は平成17年1月に佐賀県教育委員会と包括的な連携・協力協定を締結した。以降約20年、教育学部への改組などを経ながら、これまでに学校支援活動、中堅教諭等資質向上研修機会の多様化、小中連携による学力向上推進地域指定事業、学び続ける学校トッパーリーダーの資質向上事業、「教職実践演習」の実施と教員養成カリキュラムの見直し、教師力・学校力向上に資する実践研究、実践的指導力向上研修等、数多くの連携・協力事業に取り組んできた。これらの連携・協力事業について協議・検討を行うため、年2回の「連携・協力協議会」を開催しており、協議会の際に広く意見交換・情報交換を行っている。共同教員養成課程への改組後も、従前と変わらず引き続き連携・協力を推進する。

佐賀市教育委員会とは、教育実践フィールド演習と教育実習に関する協定を結び、大学2年次の教育実践フィールド演習Ⅰを佐賀市内の小中学校で、併免（4年次）教育実習を佐賀市内の中中学校で実施している。教育実践フィールド演習と教育実習の実施に際し、佐賀市教育委員会との教育実習協議会を年数回実施し、協議会の際に広く意見交換・情報交換を行っている。

## (2) 学校現場における体験活動・ボランティア活動等

## ①

取組名称： 教育実践フィールド演習Ⅰ（教科又は教職に関する科目）

連携先との調整方法： 佐賀市教育委員会との連携により、各小中学校の担当者と授業担当教員が、年に2回程度の部会を開いて意見交換・連絡調整をする。

## 様式第7号イ

具体的な内容： 教育実践フィールド演習Ⅰは教職への意欲付けと児童・教師・学校理解を目的として佐賀市内の9の小学校での体験活動を行う。

②

取組名称：	学校支援活動
連携先との調整方法：	佐賀県教育委員会との連携・協力事業の一つである。教育委員会が各学校の学生の派遣希望（プラン）を取り纏め、大学が学生とマッチングさせる。
具体的な内容：	<p>学校支援活動は、佐賀県内公立小・中学校、義務教育学校及び県立特別支援学校が佐賀大学の教員志望の学生を「学校支援活動員」として受け入れ、授業や学習の補助など学校の様々な教育活動を経験してもらうことで、子どもたちや教育現場をより深く理解した教員を育成するとともに、学校においては児童生徒へのきめ細かな指導の充実や、学校の活性化等を図ることを目的としている。</p> <p>主な活動内容は、長期休業中や学期中の学習指導の補助、学校行事（運動会・体育大会、宿泊学習等）の補助、特別な支援を必要とする児童生徒への学習指導の補助などである。</p>

## Ⅲ. 教職指導の状況

教員養成を主たる目的とする教育学部の学生に対しては、1年次からチューター（担任）が修学状況や進路選択、「教職カルテ」を活用した履修状況の確認及び学生への教職課程履修上の指導助言を行う。

教育実践フィールド演習、教育実習の事前・事後指導などの場面において、教育学部附属教育実践総合センター教員から教職や実習の重要性、詳しい履修ルール等が指導され、教職の意義・役割に関する理解の深化、及び教員免許状取得に向けた意識の向上が図られている。

更に、教員採用試験を受験する学生には、教育学部教員による教員採用選考試験対策（教採ゼミ）を3年次の12月より4年次7月まで開設する。本講座では約8ヶ月間にわたって、教育学部の教員が協働して受験対策情報はもとより、試験対策指導を実施するとともに、個別の教採受験に伴う相談等に対応し、学校教員を目指す学生への支援体制をとる。

## 様式第7号ウ

## ＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：幼一種免）

## (1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育の歴史や発達の過程に関する知識など、教育課程に関する事項を理解する。</li> <li>・教育についての基礎的理解を図る。</li> <li>・現代教育に関する基礎的素養(日本国憲法含む)について理解する。</li> <li>・教職に関する基礎的素養(スポーツ・語学・情報)について理解する。</li> <li>・教育する立場にたって学校現場を体験し、子ども・学校理解をはかり、教師の職務を理解する。</li> <li>・教員の視点に立って子どもと教育現場を体験的に理解するとともに、教職キャリア形成への意識を持つ。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職についての基礎的理解を図り、教科内容について理解する。</li> <li>・教職の意義及び教員の役割について理解するとともに、自ら教職キャリア形成を展望する。</li> <li>・小学校の教科内容を理解する。</li> <li>・幼・小・中・特支の学校現場を体験し、教育的コミュニケーション能力の育成をはかる。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育に関する理念・歴史、制度の理解、及び子どもの発達とその支援にむけた教育的働きかけについての基本的理解をはかる。</li> <li>・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程と教育課程の意義及び編成の概要について理解する。</li> <li>・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程と教育課程の意義及び編成との概要について理解する。</li> <li>・幼児の発達や幼児教育の理論に関してより多面的に理解する。</li> <li>・保育内容に関する基本的な考え方や指導の方法を理解する。</li> <li>・初等授業の実践について理解し、授業を行うための必要な知識やスキルを身につける。</li> <li>・授業以外の場面を含めた幼児・児童・生徒と教員・学校の様子について体験的に理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領ならびに教科外指導、生徒指導について理解する。</li> <li>・道徳教育の理論と方法、生徒指導について理解する。</li> <li>・指導案をチームを組んで作成し、授業を行う。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科指導及び、カウンセリングに関する基礎的理解をはかり、基礎的教育実習を行う。</li> <li>・教科指導法について理解し、指導案作成力を育成する。</li> <li>・教科に関する実験、実習・演習を通じ、教材研究能力の向上を中心に、基礎的教育実習むけての実践力を養う。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導、児童生徒の発達について、より発展的に理解する。</li> <li>・教育実習での授業実践を振り返り、明らかになった学習指導、教科指導に関する課題を設定する。</li> <li>・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。</li> <li>・幼児の心身の発達に関する現代的教育課題等について理解する。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。</li> <li>・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習、実習を通じて補充・深化・統合を図る。</li> <li>・児童生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。</li> <li>・幼児に関する理論や実践の場を通じて、幼児やその教育に関する理解を深める。</li> <li>・幼稚園教育実習や保育ボランティアを通して、具体的な幼児指導について理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。</li> <li>・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。</li> <li>・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。</li> <li>・これまでの研究成果を踏まえて、幼児の心理や教育に関して一段と理解を深める。</li> </ul>

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：幼一種免）

(2)具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称					
		保育内容の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	領域に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目	
年次	時期						
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)		教育実践フィールド演習Ⅰ	日本国憲法		
		教育原理B(歴史・制度)			体育実技Ⅰ		
		教育心理学A(学習)			英語A		
		教育心理学B(発達)			情報基礎概論		
		教職入門			情報基礎演習Ⅰ		
		幼児教育と保育の原理					
	後期	現代の教育と社会A	幼児と環境			体育実技Ⅱ	
		現代の教育と社会B	幼児と言葉			英語B	
		保育内容(環境)	幼児と人間関係				
		保育内容(言葉)	幼児と表現Ⅰ				
		保育内容(人間関係)					
		保育内容(表現Ⅰ)					
2年次	前期	教育とICT活用	幼児と健康	熊本・学びの最前線	英語C		
		教育方法学	幼児と表現Ⅱ				
		保育内容(健康)					
		保育内容(表現Ⅱ)					
		保育表現演習Ⅲ(造形表現)					
		保育表現演習Ⅳ(リズム表現)					
		保育表現演習Ⅰ(言語表現)					
		保育表現演習Ⅱ(運動表現)					
		幼児理解の理論と方法					
	後期	教育課程論		LD等学習指導法	英語D		
				教育統計			
				大学生の道徳・倫理			
				道徳教育の実践			

				道徳教育の理論		
				幼小連携・小中連携教育論		
3年次	前期	教育相談の理論及び方法		教育実践フィールド演習Ⅱ		
		事前・事後指導				
		初等教育実習Ⅱ				
		初等教育実習Ⅰ				
		小学校教育実習Ⅰ				
		小学校教育実習Ⅱ				
		特別支援教育の基礎				
		特別支援教育の展開				
		幼稚園教育実習Ⅰ				
		幼稚園教育実習Ⅱ				
	後期				学校経営学	
				教育評価		
				人権教育論		
4年次	前期					
	後期	教職実践演習(幼・小・中・高)				

## 様式第7号ウ

## ＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：小一種免）

## (1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育についての基礎的理解を図る。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（語学，情報）について理解する。</li> <li>・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法を含む）について理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職の意義や教師の役割，職務内容，生徒に対する責務を理解する。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（語学，エクササイズ・スポーツ科学）について理解する。</li> <li>・現代教育に関する基礎的素養について理解する。</li> <li>・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。</li> <li>・特別な支援を必要とする児童等に対応できる基礎的な知識や技能を修得する。</li> <li>・特別支援教育の基礎について理解する。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育に関する制度や経営について理解する。</li> <li>・幼児・児童，生徒の心身の発達について理解する。</li> <li>・特別活動における教育課程とその評価及び指導の実際について理解する。</li> <li>・教科に関する指導法及び教育相談（カウンセリングを含む）に関する基礎的理解を図る。</li> <li>・子どもの心身の発達とその支援にむけた教育的働きかけについて理解する。</li> <li>・小学校の各教科の指導法の目標・内容・方法・評価を理解し，学習指導を構想する。</li> <li>・社会，算数，理科の小学校教科内容の基礎について理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の課程や編成の概要について理解し，並びに生徒指導について理解する。</li> <li>・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・教科に関する指導法及びキャリア相談に関する基礎的理解を図る。</li> <li>・英語，生活，図画工作の小学校教科内容の基礎について理解する。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳教育の基礎を理解する。</li> <li>・教科に関する実験・実習・演習を通じ，教材研究能力の向上を図り，教育実習に向けた準備を行う。</li> <li>・小学校と中学校の教科の相互指導のあり方を具体的な教育内容に即して理解する。</li> <li>・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・教育実習に取り組み，小学校各教科の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科に関するより専門的な考察を実施することで，学習指導，教科指導をより発展的に理解する。</li> <li>・教職の総合的演習を通して，自他の教育実習・実践を省察する。</li> <li>・遠隔教育システムの活用に関する基礎的な知識・技能を修得する。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。</li> <li>・教員としての資質をさらに発展させるために，講義，演習等を通じて補充・深化・統合を図る。</li> <li>・児童・生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに，自己の問題意識を深める。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。</li> <li>・自己の問題意識に基づき，現代的教育課題と関連させながら，自律的に追及する。</li> <li>・これからの学校教育と自己の課題について，集団的な議論を踏まえ，自己課題を追求する。</li> </ul>

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：小一種免）

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	初等音楽	教育実践フィールド演習Ⅰ	日本国憲法	
		教育原理B(歴史・制度)	初等国語		体育実技Ⅰ	
		教育心理学A(学習)	小学音楽実技(ピアノ)		英語A	
		教育心理学B(発達)	小学音楽実技(声楽)		情報基礎概論	
		教職入門			情報基礎演習Ⅰ	
	後期	現代の教育と社会A	初等家庭		体育実技Ⅱ	
		現代の教育と社会B	初等外国語		英語B	
		初等音楽科指導法Ⅰ				
		初等音楽科指導法Ⅱ				
		初等国語科指導法Ⅰ				
		初等国語科指導法Ⅱ				
	2年次	前期	教育とICT活用	初等算数	熊本・学びの最前線	英語C
教育方法学			初等書写			
初等家庭科指導法Ⅰ			初等生活			
初等家庭科指導法Ⅱ			初等体育			
初等外国語指導法Ⅰ						
初等外国語指導法Ⅱ						
特別活動・総合的な学習の時間の指導法(教育課程の内容を含む)						
後期		教育課程論	初等社会	LD等学習指導法	英語D	
		初等算数科指導法Ⅰ	初等図画工作	教育統計		
		初等算数科指導法Ⅱ	初等理科	大学生の道徳・倫理		
		初等生活科指導法Ⅰ		幼小連携・小中連携教育論		
		初等生活科指導法Ⅱ				
		初等体育科指導法Ⅰ				
		初等体育科指導法Ⅱ				
		生徒指導と学校カウンセリング				
道徳教育の実践						
道徳教育の理論						
	教育相談の理論及び方法		教育実践フィールド演習Ⅱ			
	事前・事後指導					
	初等教育実習Ⅱ					
	初等教育実習Ⅰ					
	初等社会科指導法Ⅰ					
	初等社会科指導法Ⅱ					

3年次	前期	初等図画工作科指導法Ⅰ				
		初等図画工作科指導法Ⅱ				
		初等理科指導法Ⅰ				
		初等理科指導法Ⅱ				
		小学校教育実習Ⅰ				
		小学校教育実習Ⅱ				
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
		特別支援教育の基礎				
		特別支援教育の展開				
		幼稚園教育実習Ⅰ				
	幼稚園教育実習Ⅱ					
	後期			学校経営学		
			教育評価			
			人権教育論			
4年次	前期					
	後期	教職実践演習(幼・小・中・高)		教職保健		

## 様式第7号ウ

## ＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（国語））

## (1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育についての基礎的理解を図る。</li> <li>・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法含む）について理解する。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（スポーツ・語学・情報）について理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職についての基礎的理解を図り、教科内容について理解する。</li> <li>・教職の意義及び教員の役割について理解するとともに、自ら教職キャリア形成を展望する。</li> <li>・教科内容を理解する。</li> <li>・日本語、日本文学、漢文学、書写等の教科内容の基礎について理解する。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育に関する理念・歴史、制度の理解、及び子どもの発達とその支援にむけた教育的働きかけについての基本的理解をはかる。</li> <li>・教育に関する理念・歴史・思想・制度について理解する。</li> <li>・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程と教育課程の意義及び編成の概要について理解する。</li> <li>・中等の授業実践について理解し、授業を行うための必要な知識やスキルを身につける。</li> <li>・教科指導の基礎を学び、教科内容の基礎と関連づけて理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領ならびに教科外指導、生徒指導について理解する。</li> <li>・学習指導要領について理解する。</li> <li>・道徳教育の理論と方法、生徒指導について理解する。</li> <li>・小学校と中学校の科目内容の接続のためにどのような教育内容や教材研究をすればよいのかを理解する。</li> <li>・課題に基づく1単位あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・教科指導の基礎を学び、教科内容の基礎と関連づけて理解する。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科指導及び、教育相談（カウンセリング含）に関する基礎的理解をはかり、教育実習にむけての準備を行う</li> <li>・教育相談（カウンセリング含）に関する基礎的理解をはかる。</li> <li>・教科に関する実験・実習・演習を通じ、教材研究能力の向上をはかる。</li> <li>・教育実習むけての実践力を養うために、中学校教育現場を体験する。</li> <li>・小学校と中学校の教科の相互指導のあり方を、具体的な教育内容に即して理解する。</li> <li>・課題に基づく1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・国語科教育の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導、児童生徒の発達について、より発展的に理解する。</li> <li>・中学校教育現場での体験学習をもとに、学習指導、教科指導に関する課題を設定する。</li> <li>・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。</li> <li>・国語科教育の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。</li> <li>・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習、実習を通じて補充・深化・統合を図る。</li> <li>・児童生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。</li> <li>・教育実習に取り組み、自他の実践を省察し、国語科教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。</li> <li>・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。</li> <li>・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。</li> <li>・教育実習に取り組み、自他の実践を省察し、国語科教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。</li> </ul>

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（国語））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	書道 I	教育実践フィールド演習 I	日本国憲法	
		教育原理B(歴史・制度)	書道 II		体育実技 I	
		教育心理学A(学習)			英語A	
		教育心理学B(発達)			情報基礎概論	
		教職入門			情報基礎演習 I	
	後期	現代の教育と社会 A	書写		体育実技 II	
	現代の教育と社会 B	書道史		英語B		
		書論・鑑賞				
2年次	前期	中等国語科指導法 I	漢文学演習 I		英語C	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	国語学概説 I			
		教育方法学	国文学演習 I			
		教育とICT活用	国文学概説			
			国文学講義 I (古典)			
			国文学論			
	後期	中等国語科指導法 II	漢文学演習 II	教育統計 I	英語D	
		国語科教育学演習 A	漢文学概説 I			
		書道科教育法 I	国語学演習 I			
		教育課程論	国語学概説 II			
		道德教育の理論	国文学演習 II			
		道德教育の実践	国文学講読(古典)			
	生徒指導と学校カウンセリング	書道 III				
		書道 IV				
3年次	前期	中等国語科指導法 III	漢文学概説 II	教育実践フィールド演習 II		
		国語科教育学演習 B	国語学演習 II			
		書道科教育法 II	国語学概説 III			
		特別支援教育の基礎	国文学演習 III			
		特別支援教育の展開	国文学講義 II (近現代)			
		教育相談とキャリア教育				
	後期	中等国語科指導法 IV	漢文学演習 III	教育評価		
		国語科教育学演習 C	漢文学特別演習 I			
		国語科教育学演習 D	漢文学特別演習 II			
			国語学特別演習 I			
		国文学演習 IV				
		国文学特別演習 I (近現代)				
		国文学特別演習 II (近現代)				
4年次	前期	中学校教育実習 I				
		中学校教育実習 II				
		高等学校教育実習				
	後期	中学校教育実習 I				
		中学校教育実習 II				
		高等学校教育実習				
		教職実践演習(幼・小・中・高)				

## 様式第7号ウ

## ＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（国語））

## (1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育についての基礎的理解を図る。</li> <li>・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法含む）について理解する。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（スポーツ・語学・情報）について理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職についての基礎的理解を図り、教科内容について理解する。</li> <li>・教職の意義及び教員の役割について理解するとともに、自ら教職キャリア形成を展望する。</li> <li>・教科内容を理解する。</li> <li>・日本語、日本文学、漢文学、書写等の教科内容の基礎について理解する。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育に関する理念・歴史、制度の理解、及び子どもの発達とその支援にむけた教育的働きかけについての基本的理解をはかる。</li> <li>・教育に関する理念・歴史・思想・制度について理解する。</li> <li>・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程と教育課程の意義及び編成の概要について理解する。</li> <li>・中等の授業実践について理解し、授業を行うための必要な知識やスキルを身につける。</li> <li>・教科指導の基礎を学び、教科内容の基礎と関連づけて理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領ならびに教科外指導、生徒指導について理解する。</li> <li>・学習指導要領について理解する。</li> <li>・道徳教育の理論と方法、生徒指導について理解する。</li> <li>・小学校と中学校の科目内容の接続のためにどのような教育内容や教材研究をすればよいのかを理解する。</li> <li>・課題に基づく1単位あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・教科指導の基礎を学び、教科内容の基礎と関連づけて理解する。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科指導及び、教育相談（カウンセリング含）に関する基礎的理解をはかり、教育実習にむけての準備を行う</li> <li>・教育相談（カウンセリング含）に関する基礎的理解をはかる。</li> <li>・教科に関する実験・実習・演習を通じ、教材研究能力の向上をはかる。</li> <li>・教育実習むけての実践力を養うために、中学校教育現場を体験する。</li> <li>・小学校と中学校の教科の相互指導のあり方を、具体的な教育内容に即して理解する。</li> <li>・課題に基づく1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・国語科教育の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導、児童生徒の発達について、より発展的に理解する。</li> <li>・中学校教育現場での体験学習をもとに、学習指導、教科指導に関する課題を設定する。</li> <li>・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。</li> <li>・国語科教育の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。</li> <li>・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習、実習を通じて補充・深化・統合を図る。</li> <li>・児童生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。</li> <li>・教育実習に取り組み、自他の実践を省察し、国語科教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。</li> <li>・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。</li> <li>・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。</li> <li>・教育実習に取り組み、自他の実践を省察し、国語科教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。</li> </ul>

## 様式第7号ウ（教諭）

&lt;教育学部共同教員養成課程&gt;（認定課程：高一種免（国語））

## (2)具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)		教育実践フィールド演習Ⅰ	日本国憲法	
		教育原理B(歴史・制度)			体育実技Ⅰ	
		教育心理学A(学習)			英語A	
		教育心理学B(発達)			情報基礎概論	
		教職入門			情報基礎演習Ⅰ	
	後期	現代の教育と社会A			体育実技Ⅱ	
		現代の教育と社会B			英語B	
2年次	前期	中等国語科指導法Ⅰ	漢文学演習Ⅰ		英語C	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	国語学概説Ⅰ			
		教育方法学	国文学演習Ⅰ			
		教育とICT活用	国文学概説			
			国文学講義Ⅰ(古典)			
			国文学論			
	後期	中等国語科指導法Ⅱ	漢文学演習Ⅱ	教育統計Ⅰ	英語D	
		国語科教育学演習A	漢文学概説Ⅰ			
		教育課程論	国語学演習Ⅰ			
		生徒指導と学校カウンセリング	国語学概説Ⅱ			
			国文学演習Ⅱ			
			国文学講読(古典)			
前期	中等国語科指導法Ⅲ	漢文学概説Ⅱ	教育実践フィールド演習Ⅱ			
	国語科教育学演習B	国語学演習Ⅱ				
	特別支援教育の基礎	国語学概説Ⅲ				
	特別支援教育の展開	国文学演習Ⅲ				
	教育相談とキャリア教育	国文学講義Ⅱ(近現代)				

3年次	後期	中等国語科指導法Ⅳ	漢文学演習Ⅲ	教育評価		
		国語科教育学演習C	漢文学特別演習Ⅰ			
		国語科教育学演習D	漢文学特別演習Ⅱ			
			国語学特別演習Ⅰ			
			国文学演習Ⅳ			
			国文学特別演習Ⅰ(近現代)			
			国文学特別演習Ⅱ(近現代)			
4年次	前期	中学校教育実習Ⅰ	国語学演習Ⅲ			
		中学校教育実習Ⅱ				
		高等学校教育実習				
	後期	中学校教育実習Ⅰ	国語学特別演習Ⅱ			
		中学校教育実習Ⅱ				
		高等学校教育実習				
		教職実践演習(幼・小・中・高)				

## 様式第7号ウ

## ＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（社会科））

## (1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育についての基礎的理解を図る。</li> <li>・現代教育に関する基礎的素養(日本国憲法含む)について理解する。</li> <li>・教職に関する基礎的素養(スポーツ・語学・情報)について理解する。</li> <li>・社会科を構成する内容について、基礎的知識と視点を理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職についての基礎的理解を図り、教科内容について理解する。</li> <li>・教職の意義及び教員の役割について理解するとともに、自ら教職キャリア形成を展望する。</li> <li>・教科内容を理解する。</li> <li>・社会科を構成する内容について、基礎的知識と視点を理解する。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育に関する理念・歴史、制度の理解、及び子どもの発達とその支援にむけた教育的働きかけについての基本的理解をはかる。</li> <li>・教育に関する理念・歴史・思想・制度について理解する。</li> <li>・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程と教育課程の意義及び編成の概要について理解する。</li> <li>・中等の授業実践について理解し、授業を行うための必要な知識やスキルを身につける。</li> <li>・社会科を構成する内容について、深く理解・分析し、それを説明できるようになる。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領ならびに教科外指導、生徒指導について理解する。</li> <li>・学習指導要領について理解する。</li> <li>・道徳教育の理論と方法、生徒指導について理解する。</li> <li>・小学校と中学校の科目内容の接続のためにどのような教育内容や教材研究をすればよいのかを理解する。</li> <li>・課題に基づく1単位あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・社会科を構成する内容について、深く理解・分析し、それを説明できるようになる。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科指導及び、教育相談(カウンセリング含)に関する基礎的理解をはかり、教育実習にむけての準備を行う</li> <li>・教育相談(カウンセリング含)に関する基礎的理解をはかる。</li> <li>・教科に関する実験、実習・演習を通じ、教材研究能力の向上をはかる。</li> <li>・教育実習むけての実践力を養うために、中学校教育現場を体験する。</li> <li>・小学校と中学校の教科の相互指導のあり方を、具体的な教育内容に即して理解する。</li> <li>・課題に基づく1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・社会科を構成する内容について、教育の場で活かすことができるようになる。</li> <li>・ワークショップ型の授業実践を試みることができるようになる。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導、児童生徒の発達について、より発展的に理解する。</li> <li>・中学校教育現場での体験学習をもとに、学習指導、教科指導に関する課題を設定する。</li> <li>・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。</li> <li>・社会科を構成する内容について、より深く理解・分析し、教育の場で活かせる力量を育成する。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。</li> <li>・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習、実習を通じて補充・深化・統合を図る。</li> <li>・児童生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。</li> <li>・社会科を構成する内容の理解・応用について、継続的・発展的な深化を図る。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。</li> <li>・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。</li> <li>・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。</li> <li>・社会科を構成する内容の理解・応用について、継続的・発展的な深化を図る。</li> </ul>

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（社会科））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	社会学概説	教育実践フィールド演習Ⅰ	日本国憲法	
		教育原理B(歴史・制度)	日本史概説		体育実技Ⅰ	
		教育心理学A(学習)	法律学概説		英語A	
		教育心理学B(発達)			情報基礎概論	
		教職入門			情報基礎演習Ⅰ	
	後期	現代の教育と社会A	社会学特講		体育実技Ⅱ	
		現代の教育と社会B	人文地理学概説		英語B	
			世界史概説			
			政治学概説Ⅱ			
			日本史特講Ⅱ(近現代)			
			法律学特講			
			倫理学概説			
		2年次	前期	中等社会科指導法(社会・公民)Ⅰ	応用倫理学概説	
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	経済学概説					
教育方法学	自然地理学概説					
教育とICT活用	世界史特講Ⅱ(西洋史)					
	政治学特講Ⅱ					
	地域社会学概説					
	地誌学概説					
	哲学概説					
	日本史特講Ⅲ(近世史)					
	倫理学特講					
	中等社会科指導法(社会・地理歴史)Ⅰ		応用倫理学特講	教育統計Ⅰ	英語D	
	教育課程論	自然地理学特講Ⅱ				

	後期	道徳教育の理論	社会人間学特講			
		道徳教育の実践	政治学概説Ⅰ			
生徒指導と学校力 カウンセリング		日本史特講Ⅳ(中 世史)				
		日本史特講Ⅴ(古 代史)				
3年次	前期	中等社会科指導法 (社会・公民)Ⅱ	経済学演習Ⅰ	教育実践フィールド 演習Ⅱ		
		中等社会科指導法 (社会・地理歴史) Ⅱ	自然地理学演習Ⅰ			
		特別支援教育の基 礎	自然地理学演習Ⅲ			
		特別支援教育の展 開	社会科教育演習Ⅰ			
		教育相談とキャリア 教育	社会科教育演習Ⅴ			
			人文地理学演習Ⅰ			
			人文地理学特講			
			世界史特講Ⅰ (中国史)			
			政治学演習Ⅰ			
			政治学特講Ⅰ			
			西洋史演習Ⅰ			
			西洋史演習Ⅲ			
			日本史演習Ⅰ(地 域史調査)			
			日本史演習Ⅴ			
			日本史特講Ⅰ(史 料論)			
			法学演習Ⅰ			
			法学演習Ⅲ			
			倫理学演習Ⅰ			
		倫理学演習Ⅲ				
			経済学演習Ⅱ	教育評価		
			経済学特講			
			自然地理学演習Ⅱ			
			自然地理学演習Ⅳ			
			自然地理学特講Ⅰ			
			社会科教育演習Ⅱ			

4年次	後期		社会科教育演習Ⅵ					
			人文地理学演習Ⅱ					
			世界史特講Ⅲ (東南アジア史)					
			政治学演習Ⅱ					
			政治学調査実習					
			西洋史演習Ⅱ					
			西洋史演習Ⅳ					
			地域調査実習					
			地理学調査実習					
			中等社会科教育特講(租税教育論)					
			日本史演習Ⅱ(中世文書)					
			日本史演習Ⅵ					
			日本史調査実習					
			法学演習Ⅱ					
			法学演習Ⅳ					
			倫理学演習Ⅱ					
			倫理学演習Ⅳ					
		4年次	前期	中学校教育実習Ⅰ	経済学演習Ⅲ			
				中学校教育実習Ⅱ	社会科教育演習Ⅲ			
高等学校教育実習	社会科教育演習Ⅶ							
	人文地理学演習Ⅲ							
	政治学演習Ⅲ							
	日本史演習Ⅲ(荘園調査)							
後期	中学校教育実習Ⅰ		経済学演習Ⅳ					
	中学校教育実習Ⅱ		社会科教育演習Ⅳ					
	高等学校教育実習		社会科教育演習Ⅷ					
	教職実践演習(幼・小・中・高)		人文地理学演習Ⅳ					
			政治学演習Ⅳ					
		日本史演習Ⅳ(近世文書)						

## 様式第7号ウ

## ＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（地理歴史））

## (1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育についての基礎的理解を図る。</li> <li>・現代教育に関する基礎的素養(日本国憲法含む)について理解する。</li> <li>・教職に関する基礎的素養(スポーツ・語学・情報)について理解する。</li> <li>・地歴科を構成する内容について、基礎的知識と視点を理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職についての基礎的理解を図り、教科内容について理解する。</li> <li>・教職の意義及び教員の役割について理解するとともに、自ら教職キャリア形成を展望する。</li> <li>・教科内容を理解する。</li> <li>・地歴科を構成する内容について、基礎的知識と視点を理解する。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育に関する理念・歴史、制度の理解、及び子どもの発達とその支援にむけた教育的働きかけについての基本的理解をはかる。</li> <li>・教育に関する理念・歴史・思想・制度について理解する。</li> <li>・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程と教育課程の意義及び編成の概要について理解する。</li> <li>・中等の授業実践について理解し、授業を行うための必要な知識やスキルを身につける。</li> <li>・地歴科を構成する内容について、深く理解・分析し、それを説明できるようになる。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領ならびに教科外指導、生徒指導について理解する。</li> <li>・学習指導要領について理解する。</li> <li>・道徳教育の理論と方法、生徒指導について理解する。</li> <li>・小学校と中学校の科目内容の接続のためにどのような教育内容や教材研究をすればよいのかを理解する。</li> <li>・課題に基づく1単位あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・地歴科を構成する内容について、深く理解・分析し、それを説明できるようになる。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科指導及び、教育相談(カウンセリング含)に関する基礎的理解をはかり、教育実習にむけての準備を行う</li> <li>・教育相談(カウンセリング含)に関する基礎的理解をはかる。</li> <li>・教科に関する実験・実習・演習を通じ、教材研究能力の向上をはかる。</li> <li>・教育実習むけての実践力を養うために、中学校教育現場を体験する。</li> <li>・小学校と中学校の教科の相互指導のあり方を、具体的な教育内容に即して理解する。</li> <li>・課題に基づく1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・地歴科を構成する内容について、教育の場で活かすことができるようになる。</li> <li>・ワークショップ型の授業実践を試みることができるようになる。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導、児童生徒の発達について、より発展的に理解する。</li> <li>・中学校教育現場での体験学習をもとに、学習指導、教科指導に関する課題を設定する。</li> <li>・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。</li> <li>・地歴科を構成する内容について、より深く理解・分析し、教育の場で活かせる力量を育成する。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。</li> <li>・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習、実習を通じて補充・深化・統合を図る。</li> <li>・児童生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。</li> <li>・社会科を構成する内容の理解・応用について、継続的・発展的な深化を図る。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。</li> <li>・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。</li> <li>・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。</li> <li>・地歴科を構成する内容の理解・応用について、継続的・発展的な深化を図る。</li> </ul>

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（地理歴史））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	日本史概説	教育実践フィールド演習Ⅰ	日本国憲法	
		教育原理B(歴史・制度)			体育実技Ⅰ	
		教育心理学A(学習)			英語A	
		教育心理学B(発達)			情報基礎概論	
		教職入門			情報基礎演習Ⅰ	
	後期	現代の教育と社会A	人文地理学概説		体育実技Ⅱ	
		現代の教育と社会B	世界史概説		英語B	
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	自然地理学概説		英語C	
		教育方法学	世界史特講Ⅱ(西洋史)			
		教育とICT活用	地誌学概説			
			日本史特講Ⅲ(近世史)			
	後期	中等社会科指導法(社会・地理歴史)Ⅰ	自然地理学特講Ⅱ	教育統計Ⅰ	英語D	
		教育課程論	日本史特講Ⅳ(中世史)			
		生徒指導と学校カウンセリング	日本史特講Ⅴ(古代史)			
前期	中等社会科指導法(社会・地理歴史)Ⅱ	自然地理学演習Ⅰ	教育実践フィールド演習Ⅱ			
	特別支援教育の基礎	自然地理学演習Ⅲ				
	特別支援教育の展開	社会科教育演習Ⅴ				
	教育相談とキャリア教育	人文地理学演習Ⅰ				
		人文地理学特講				
		世界史特講Ⅰ(中国史)				
		西洋史演習Ⅰ				
	西洋史演習Ⅲ					

3年次			日本史演習Ⅰ(地域史調査)				
			日本史演習Ⅴ				
			日本史特講Ⅰ(史料論)				
	後期		自然地理学演習Ⅱ	教育評価			
			自然地理学演習Ⅳ				
			自然地理学特講Ⅰ				
			社会科教育演習Ⅵ				
			人文地理学演習Ⅱ				
			世界史特講Ⅲ(東南アジア史)				
			西洋史演習Ⅱ				
			西洋史演習Ⅳ				
			地理学調査実習				
			中等社会科教育特講(租税教育論)				
			日本史演習Ⅱ(中世文書)				
	日本史演習Ⅵ						
		日本史調査実習					
4年次	前期	中学校教育実習Ⅰ	社会科教育演習Ⅶ				
		中学校教育実習Ⅱ	人文地理学演習Ⅲ				
		高等学校教育実習	日本史演習Ⅲ(荘園調査)				
	後期	中学校教育実習Ⅰ	社会科教育演習Ⅷ				
		中学校教育実習Ⅱ	人文地理学演習Ⅳ				
		高等学校教育実習	日本史演習Ⅳ(近世文書)				
		教職実践演習(幼・小・中・高)					

## 様式第7号ウ

## ＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（公民））

## (1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育についての基礎的理解を図る。</li> <li>・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法含む）について理解する。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（スポーツ・語学・情報）について理解する。</li> <li>・公民科を構成する内容について、基礎的知識と視点を理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職についての基礎的理解を図り、教科内容について理解する。</li> <li>・教職の意義及び教員の役割について理解するとともに、自ら教職キャリア形成を展望する。</li> <li>・教科内容を理解する。</li> <li>・公民科を構成する内容について、基礎的知識と視点を理解する。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育に関する理念・歴史、制度の理解、及び子どもの発達とその支援にむけた教育的働きかけについての基本的理解をはかる。</li> <li>・教育に関する理念・歴史・思想・制度について理解する。</li> <li>・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程と教育課程の意義及び編成の概要について理解する。</li> <li>・中等の授業実践について理解し、授業を行うための必要な知識やスキルを身につける。</li> <li>・公民科を構成する内容について、深く理解・分析し、それを説明できるようになる。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領ならびに教科外指導、生徒指導について理解する。</li> <li>・学習指導要領について理解する。</li> <li>・道徳教育の理論と方法、生徒指導について理解する。</li> <li>・小学校と中学校の科目内容の接続のためにどのような教育内容や教材研究をすればよいのかを理解する。</li> <li>・課題に基づく1単位あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・公民科を構成する内容について、深く理解・分析し、それを説明できるようになる。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科指導及び、教育相談（カウンセリング含）に関する基礎的理解をはかり、教育実習にむけての準備を行う</li> <li>・教育相談（カウンセリング含）に関する基礎的理解をはかる。</li> <li>・教科に関する実験・実習・演習を通じ、教材研究能力の向上をはかる。</li> <li>・教育実習むけての実践力を養うために、中学校教育現場を体験する。</li> <li>・小学校と中学校の教科の相互指導のあり方を、具体的な教育内容に即して理解する。</li> <li>・課題に基づく1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・公民科を構成する内容について、教育の場で活かすことができるようになる。</li> <li>・ワークショップ型の授業実践を試みることができるようになる。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導、児童生徒の発達について、より発展的に理解する。</li> <li>・中学校教育現場での体験学習をもとに、学習指導、教科指導に関する課題を設定する。</li> <li>・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。</li> <li>・公民科を構成する内容について、より深く理解・分析し、教育の場で活かせる力量を育成する。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。</li> <li>・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習、実習を通じて補充・深化・統合を図る。</li> <li>・児童生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。</li> <li>・公民科を構成する内容の理解・応用について、継続的・発展的な深化を図る。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。</li> <li>・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。</li> <li>・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。</li> <li>・公民科を構成する内容の理解・応用について、継続的・発展的な深化を図る。</li> </ul>

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（公民））

（2）具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	法律学概説	教育実践フィールド演習Ⅰ	日本国憲法	
		教育原理B(歴史・制度)	社会学概説		体育実技Ⅰ	
		教育心理学A(学習)			英語A	
		教育心理学B(発達)			情報基礎概論	
		教職入門			情報基礎演習Ⅰ	
	後期	現代の教育と社会A	社会学特講		体育実技Ⅱ	
		現代の教育と社会B	政治学概説Ⅱ		英語B	
			法律学特講			
		倫理学概説				
2年次	前期	中等社会科指導法(社会・公民)Ⅰ	応用倫理学概説		英語C	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	経済学概説			
		教育方法学	政治学特講Ⅱ			
		教育とICT活用	地域社会学概説			
			哲学概説			
			倫理学特講			
	後期	教育課程論	応用倫理学特論	教育統計Ⅰ	英語D	
		生徒指導と学校カウンセリング	社会人間学特講			
			政治学概説Ⅰ			
前期	中等社会科指導法(社会・公民)Ⅱ	経済学演習Ⅰ	教育実践フィールド演習Ⅱ			
	特別支援教育の基礎	社会科教育演習Ⅰ				
	特別支援教育の展開	政治学演習Ⅰ				
	教育相談とキャリア教育	政治学特講Ⅰ				
		法学演習Ⅰ				
		法学演習Ⅲ				

3年次	後期		経済学演習Ⅱ			
			経済学特講			
			社会科教育演習Ⅱ	教育評価		
			政治学演習Ⅱ			
			政治学調査実習			
			地域調査実習			
			法学演習Ⅱ			
			法学演習Ⅳ			
			倫理学演習Ⅱ			
			倫理学演習Ⅳ			
4年次	前期	中学校教育実習Ⅰ	経済学演習Ⅲ			
		中学校教育実習Ⅱ	社会科教育演習Ⅲ			
		高等学校教育実習	政治学演習Ⅲ			
	後期	中学校教育実習Ⅰ	経済学演習Ⅳ			
		中学校教育実習Ⅱ	社会科教育演習Ⅳ			
		高等学校教育実習	政治学演習Ⅳ			
		教職実践演習(幼・小・中・高)				

## 様式第7号ウ

## ＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（数学））

## （1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育についての基礎的理解を図る。</li> <li>・現代教育に関する基礎的素養について理解する。</li> <li>・教職に関する基礎的素養について理解する。</li> <li>・教職の意義や教師の役割、職務内容、生徒に対する責務を理解する。</li> <li>・幼児・児童、生徒の心身の発達について理解する。</li> <li>・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。</li> <li>・数学科における教科内容の基礎について理解を深める。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代教育に関する基礎的素養について理解する。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（語学、情報、スポーツ科学）について理解する。</li> <li>・数学科における教科内容の基礎について理解を深める。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法とその評価及び指導の実際について理解する。</li> <li>・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・学校教育におけるICT活用の具体的方法について理解する。</li> <li>・数学科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。</li> <li>・数学科指導法の目標・内容・方法・評価を理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の編成について、カリキュラムマネジメントの観点から理解する。</li> <li>・道徳教育に関する理論と指導法について理解する。</li> <li>・生徒指導とカウンセリングの方法に関する基礎的理解を図る。</li> <li>・数学科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。</li> <li>・数学科の授業についての認識を深め、学習指導要領を理解し、教育実習の準備に入る。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を必要とする児童等に対応できる知識や技能を修得する。</li> <li>・特別支援教育の基礎について理解する。</li> <li>・教育相談の方法及び進路指導の方法について理解する。</li> <li>・数学科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。</li> <li>・数学科の授業についての認識を深め、模擬授業などを行って、教育実習に備える。</li> <li>・教育実習に取り組み、専門教科の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を實踐できる。</li> <li>・数学科の教科内容について、専門的な知識・技能をさらに充実させる。</li> <li>・教育実習の体験と認識を深め、数学教員に求められる実践力と理論的基盤を結びつける。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。</li> <li>・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習等を通じて補充・深化・統合を図る。</li> <li>・生徒理解及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。</li> <li>・数学科の教科内容と数学科指導法の理解をもとに、数学教員としての実践的指導力を身に付ける。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。</li> <li>・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。</li> <li>・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。</li> </ul>

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（数学））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	代数学基礎	教育実践フィールド演習Ⅰ	日本国憲法	
		教育原理B(歴史・制度)	解析学基礎		体育実技Ⅰ	
		教育心理学A(学習)			英語A	
		教育心理学B(発達)			情報基礎概論	
		教職入門			情報基礎演習Ⅰ	
	後期	現代の教育と社会A	代数学序論		体育実技Ⅱ	
		現代の教育と社会B	幾何学序論		英語B	
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	代数学概論		英語C	
		教育方法学	幾何学概論			
		教育とICT活用	解析学概論			
		中等数学科指導法Ⅰ	確率統計学基礎			
			コンピュータ			
	後期	教育課程論	代数学講義	教育統計Ⅰ	英語D	
		道徳教育の理論	幾何学講義			
		道徳教育の実践	解析学講義			
		生徒指導と学校カウンセリング	確率統計学			
		中等数学科指導法Ⅱ				
3年次	前期	特別支援教育の基礎	代数学特論	教育実践フィールド演習Ⅱ		
		特別支援教育の展開	幾何学特論			
		教育相談とキャリア教育	解析学特論			
		中等数学科指導法Ⅲ	応用数学特論			
	後期	中等数学科指導法Ⅳ	数学特論	教育評価		数学特論
4年次	前期	中学校教育実習Ⅰ	数学研究Ⅰ			数学研究Ⅰ
		中学校教育実習Ⅱ	数学教育学研究Ⅰ			数学教育学研究Ⅰ
		高等学校教育実習				
	後期	中学校教育実習Ⅰ	数学研究Ⅱ			数学研究Ⅱ
		中学校教育実習Ⅱ	数学教育学研究Ⅱ			数学教育学研究Ⅱ
		高等学校教育実習				
		教職実践演習(幼・小・中・高)				

## 様式第7号ウ

## ＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（数学））

## （1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育についての基礎的理解を図る。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（語学，スポーツ科学）について理解する。</li> <li>・教職の意義や教師の役割，職務内容，生徒に対する責務を理解する。</li> <li>・幼児・児童，生徒の心身の発達について理解する。</li> <li>・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。</li> <li>・数学科における教科内容の基礎について理解を深める。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代教育に関する基礎的素養について理解する。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（語学，情報，スポーツ科学）について理解する。</li> <li>・数学科における教科内容の基礎について理解を深める。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法を含む）について理解する。</li> <li>・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法とその評価及び指導の実際について理解する。</li> <li>・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・学校教育におけるICT活用の具体的方法について理解する。</li> <li>・数学科の教科内容についてさらに深く学び，応用的な知識を身に付ける。</li> <li>・数学科指導法の目標・内容・方法・評価を理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の編成について、カリキュラムマネジメントの観点から理解する。</li> <li>・道徳教育に関する理論と指導法について理解する。</li> <li>・生徒指導とカウンセリングの方法に関する基礎的理解を図る。</li> <li>・数学科の教科内容についてさらに深く学び，応用的な知識を身に付ける。</li> <li>・数学科の授業についての認識を深め，学習指導要領を理解し，教育実習の準備に入る。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を必要とする児童等に対応できる知識や技能を修得する。</li> <li>・特別支援教育の基礎について理解する。</li> <li>・教育相談の方法及び進路指導の方法について理解する。</li> <li>・数学科の教科内容についてさらに深く学び，応用的な知識を身に付ける。</li> <li>・数学科の授業についての認識を深め，模擬授業などを行って，教育実習に備える。</li> <li>・教育実習に取り組み，専門教科の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し，学習指導を実践できる。</li> <li>・数学科の教科内容について，専門的な知識・技能をさらに充実させる。</li> <li>・教育実習の体験と認識を深め，数学教員に求められる実践力と理論的基盤を結びつける。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。</li> <li>・教員としての資質をさらに発展させるために，講義，演習等を通じて補充・深化・統合を図る。</li> <li>・生徒理解及び学級経営の発展的な理解をもとに，自己の問題意識を深める。</li> <li>・数学科の教科内容と数学科指導法の理解をもとに，数学教員としての実践的指導力を身に付ける。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。</li> <li>・自己の問題意識に基づき，現代的教育課題と関連させながら，自律的に追及する。</li> <li>・これからの学校教育と自己の課題について，集団的な議論を踏まえ，自己課題を追求する。</li> </ul>

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（数学））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	代数学基礎	教育実践フィールド演習Ⅰ	日本国憲法	
		教育原理B(歴史・制度)	解析学基礎		体育実技Ⅰ	
		教育心理学A(学習)			英語A	
		教育心理学B(発達)			情報基礎概論	
		教職入門			情報基礎演習Ⅰ	
	後期	現代の教育と社会A	代数学序論		体育実技Ⅱ	
		現代の教育と社会B	幾何学序論		英語B	
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	代数学概論		英語C	
		教育方法学	幾何学概論			
		教育とICT活用	解析学概論			
		中等数学科指導法Ⅰ	確率統計学基礎			
			コンピュータ			
	後期	教育課程論	代数学講義	教育統計Ⅰ	英語D	
		生徒指導と学校カウンセリング	幾何学講義	道徳教育の理論		
		中等数学科指導法Ⅱ	解析学講義	道徳教育の実践		
			確率統計学			
3年次	前期	特別支援教育の基礎	代数学特論	教育実践フィールド演習Ⅱ		
		特別支援教育の展開	幾何学特論			
		教育相談とキャリア教育	解析学特論			
		中等数学科指導法Ⅲ	応用数学特論			
	後期	中等数学科指導法Ⅳ	数学特論	教育評価		数学特論
4年次	前期	中学校教育実習Ⅰ	数学研究Ⅰ			数学研究Ⅰ
		中学校教育実習Ⅱ	数学教育学研究Ⅰ			数学教育学研究Ⅰ
		高等学校教育実習				
	後期	中学校教育実習Ⅰ	数学研究Ⅱ			数学研究Ⅱ
		中学校教育実習Ⅱ	数学教育学研究Ⅱ			数学教育学研究Ⅱ
		高等学校教育実習				
		教職実践演習(幼・小・中・高)				

## 様式第7号ウ

## ＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（理科））

## （1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育についての基礎的理解を図る。</li> <li>・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法含む）について理解する。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（スポーツ・語学・情報）について理解する。</li> <li>・理科全般を学ぶ上での基盤となるコンピュータ活用による解析法を習得する。</li> <li>・物理学・化学・生物学の基礎知識を習得する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職についての基礎的理解を図り、教科内容について理解する。</li> <li>・教職の意義及び教員の役割について理解するとともに、自ら教職キャリア形成を展望する。</li> <li>・教科内容を理解する。</li> <li>・自然現象との関連など理科に関する一般知識を習得する。</li> <li>・物理学・化学・生物学・地学に関する基礎知識を習得する。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育に関する理念・歴史、制度の理解、及び子どもの発達とその支援にむけた教育的働きかけについての基本的理解をはかる。</li> <li>・教育に関する理念・歴史・思想・制度について理解する。</li> <li>・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程と教育課程の意義及び編成の概要について理解する。</li> <li>・初等授業の実践について理解し、授業を行うための必要な知識やスキルを身につける。</li> <li>・物理学・生物学に関する実験技法を習得する。</li> <li>・生物学・地学に関する基礎知識を習得する。</li> <li>・物理学・化学に関する専門知識を習得する。</li> <li>・理科教育法について基礎的知識を習得する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領ならびに教科外指導、生徒指導について理解する。</li> <li>・学習指導要領について理解する。</li> <li>・道徳教育の理論と方法、生徒指導について理解する。</li> <li>・小学校と中学校の科目内容の接続のためにどのような教育内容や教材研究をすればよいのかを理解する。</li> <li>・課題に基づく1単位あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・化学・地学に関する実験技法を習得する。</li> <li>・物理学・生物学・地学に関する専門知識を習得する。</li> <li>・理科教育法（教材・教具・コミュニケーション等）についての基礎知識や技法を習得する。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科指導及び、カウンセリングに関する基礎的理解をはかり、基礎的教育実習を行う。</li> <li>・教科指導法について理解し、指導案作成力を育成する。</li> <li>・カウンセリングに関する基礎的理解をはかる。</li> <li>・教科に関する実験・実習・演習を通じ、教材研究能力の向上を中心に、基礎的教育実習むけての実践力を養う。</li> <li>・小学校と中学校の教科の相互指導のあり方を、具体的な教育内容に即して理解する。</li> <li>・課題に基づく1単位あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・物理学・化学・生物学・地学に関する専門知識を習得する。</li> <li>・理科教育法（教材・教具・コミュニケーション等）についての応用知識や技法を習得する。</li> <li>・物理学・化学・生物学・地学に関する実験技法を習得する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導、児童生徒の発達について、より発展的に理解する。</li> <li>・教育実習での授業実践を振り返り、明らかになった学習指導、教科指導に関する課題を設定する。</li> <li>・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。</li> <li>・児童生徒の心身の発達に関する現代的な教育課題等について理解する。</li> <li>・物理学・化学・生物学・地学に関する発展的内容を習得する。</li> <li>・理科教育法（教材・教具・コミュニケーション等）についての応用知識や技法をより高度な水準で習得する。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。</li> <li>・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習、実習を通じて補充・深化・統合を図る。</li> <li>・児童生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己課題・現代的な教育課題について自律的に取り組む。</li> <li>・自己の問題意識に基づき、現代的な教育課題と関連させながら、自律的に追及する。</li> <li>・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。</li> </ul>

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（理科））

（2）具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	基礎物理学A	教育実践フィールド演習Ⅰ	日本国憲法	
		教育原理B(歴史・制度)	物理学概論Ⅰ		体育実技Ⅰ	
		教育心理学A(学習)	基礎化学A		英語A	
		教育心理学B(発達)	基礎化学B		情報基礎概論	
		教職入門	生物学概論Ⅰ		情報基礎演習Ⅰ	
			理科フィールド実習A			
	後期		理科フィールド実習B			
		理科教育実践入門	基礎物理学B		体育実技Ⅱ	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	物理学概論Ⅱ		英語B	
		教育方法学	基礎物理学演習			
		教育とICT活用	化学概論Ⅰ			
			基礎生物学A			
			基礎生物学B			
			生物学概論Ⅱ			
			基礎地学A			
			基礎地学B			
			地学概論Ⅰ			
		2年次	前期	中等理科教育法Ⅰ	物理学Ⅰ	
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	化学概論Ⅱ					
教育方法学	化学Ⅰ					
教育とICT活用	地学概論Ⅱ					
	基礎物理学実験					
	基礎生物学実験					
	中等理科教育法Ⅱ		物理学Ⅱ	教育統計Ⅰ	英語D	

	後期	教育課程論	生物学 I			
		道徳教育の理論	地学 I			
		道徳教育の実践	基礎化学実験			
		生徒指導と学校カ ウンセリング	基礎地学実験			
3年次	前期	中等理科教育法Ⅲ	エネルギー科学	教育実践フィールド 演習Ⅱ		
		特別支援教育の基 礎	物理化学			
		特別支援教育の展 開	生物学Ⅱ			
		教育相談とキャリア 教育	生命科学			
			地学Ⅱ			
			物理学実験A			
			物理学実験B			
			化学実験A			
			化学実験B			
			生物学実験A			
			生物学実験B			
	後期	中等理科教育法Ⅳ	量子物理	教育評価		
			化学Ⅱ			
			無機・有機化学			
		地球科学				
4年次	前期	中学校教育実習Ⅰ				
		中学校教育実習Ⅱ				
		高等学校教育実習				
	後期	中学校教育実習Ⅰ				
		中学校教育実習Ⅱ				
		高等学校教育実習				
		教職実践演習(幼・ 小・中・高)				

## 様式第7号ウ

## ＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（理科））

## (1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育についての基礎的理解を図る。</li> <li>・現代教育に関する基礎的素養(日本国憲法含む)について理解する。</li> <li>・教職に関する基礎的素養(スポーツ・語学・情報)について理解する。</li> <li>・理科全般を学ぶ上での基盤となるコンピュータ活用による解析法を習得する。</li> <li>・物理学・化学・生物学の基礎知識を習得する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職についての基礎的理解を図り、教科内容について理解する。</li> <li>・教職の意義及び教員の役割について理解するとともに、自ら教職キャリア形成を展望する。</li> <li>・教科内容を理解する。</li> <li>・自然現象との関連など理科に関する一般知識を習得する。</li> <li>・物理学・化学・生物学・地学に関する基礎知識を習得する。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育に関する理念・歴史、制度の理解、及び子どもの発達とその支援にむけた教育的働きかけについての基本的理解をはかる。</li> <li>・教育に関する理念・歴史・思想・制度について理解する。</li> <li>・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程と教育課程の意義及び編成の概要について理解する。</li> <li>・初等授業の実践について理解し、授業を行うための必要な知識やスキルを身につける。</li> <li>・物理学・生物学に関する実験技法を習得する。</li> <li>・生物学・地学に関する基礎知識を習得する。</li> <li>・物理学・化学に関する専門知識を習得する。</li> <li>・理科教育法について基礎的知識を習得する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領ならびに教科外指導、生徒指導について理解する。</li> <li>・学習指導要領について理解する。</li> <li>・道徳教育の理論と方法、生徒指導について理解する。</li> <li>・小学校と中学校の科目内容の接続のためにどのような教育内容や教材研究をすればよいのかを理解する。</li> <li>・課題に基づく1単位あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・化学・地学に関する実験技法を習得する。</li> <li>・物理学・生物学・地学に関する専門知識を習得する。</li> <li>・理科教育法(教材・教具・コミュニケーション等)についての基礎知識や技法を習得する。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科指導及び、カウンセリングに関する基礎的理解をはかり、基礎的教育実習を行う。</li> <li>・教科指導法について理解し、指導案作成力を育成する。</li> <li>・カウンセリングに関する基礎的理解をはかる。</li> <li>・教科に関する実験・実習・演習を通じ、教材研究能力の向上を中心に、基礎的教育実習むけての実践力を養う。</li> <li>・小学校と中学校の教科の相互指導のあり方を、具体的な教育内容に即して理解する。</li> <li>・課題に基づく1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・物理学・化学・生物学・地学に関する専門知識を習得する。</li> <li>・理科教育法(教材・教具・コミュニケーション等)についての応用知識や技法を習得する。</li> <li>・物理学・化学・生物学・地学に関する実験技法を習得する。</li> </ul>

	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導、児童生徒の発達について、より発展的に理解する。</li> <li>・教育実習での授業実践を振り返り、明らかになった学習指導、教科指導に関する課題を設定する。</li> <li>・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。</li> <li>・児童生徒の心身の発達に関する現代的な教育課題等について理解する。</li> <li>・物理学・化学・生物学・地学に関する発展的内容を習得する。</li> <li>・理科教育法(教材・教具・コミュニケーション等)についての応用知識や技法をより高度な水準で習得する。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。</li> <li>・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習、実習を通じて補充・深化・統合を図る。</li> <li>・児童生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。</li> <li>・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。</li> <li>・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。</li> </ul>

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（理科））

（2）具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	基礎物理学A	教育実践フィールド演習Ⅰ	日本国憲法	
		教育原理B(歴史・制度)	物理学概論Ⅰ		体育実技Ⅰ	
		教育心理学A(学習)	基礎化学A		英語A	
		教育心理学B(発達)	基礎化学B		情報基礎概論	
		教職入門	生物学概論Ⅰ		情報基礎演習Ⅰ	
			理科フィールド実習A			
	後期		理科フィールド実習B			
		理科教育実践入門	基礎物理学B		体育実技Ⅱ	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	物理学概論Ⅱ		英語B	
		教育方法学	基礎物理学演習			
		教育とICT活用	化学概論Ⅰ			
			基礎生物学A			
			基礎生物学B			
			生物学概論Ⅱ			
			基礎地学A			
			基礎地学B			
			地学概論Ⅰ			
		2年次	前期	中等理科教育法Ⅰ	物理学Ⅰ	
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	化学概論Ⅱ					
教育方法学	化学Ⅰ					
教育とICT活用	地学概論Ⅱ					
	基礎物理学実験					
	基礎生物学実験					
	中等理科教育法Ⅱ		物理学Ⅱ	教育統計Ⅰ	英語D	

3年次	後期	教育課程論	生物学Ⅰ	道徳教育の理論		
		生徒指導と学校力 カウンセリング	地学Ⅰ	道徳教育の実践		
			基礎化学実験			
			基礎地学実験			
	前期	中等理科教育法Ⅲ	エネルギー科学	教育実践フィールド 演習Ⅱ		
		特別支援教育の基礎	物理化学			
		特別支援教育の展開	生物学Ⅱ			
		教育相談とキャリア 教育	生命科学			
			地学Ⅱ			
			物理学実験A			
			物理学実験B			
			化学実験A			
			化学実験B			
		生物学実験A				
		生物学実験B				
		地学実験A				
	地学実験B					
後期	中等理科教育法Ⅳ	量子物理	教育評価			
		化学Ⅱ				
		無機・有機化学				
		地球科学				
4年次	前期	中学校教育実習Ⅰ				
		中学校教育実習Ⅱ				
		高等学校教育実習				
	後期	中学校教育実習Ⅰ				
		中学校教育実習Ⅱ				
		高等学校教育実習				
		教職実践演習(幼・ 小・中・高)				

## 様式第7号ウ

## ＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（音楽））

## (1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育についての基礎的理解を図る。</li> <li>・現代教育に関する基礎的素養(日本国憲法含む)について理解する。</li> <li>・教職に関する基礎的素養(スポーツ・語学・情報)について理解する。</li> <li>・ピアノや声楽、及び音楽理論やソルフェージュなどの基礎的内容の学修を通じて、これから音楽科教育を学ぶための基礎力を身に付ける。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職についての基礎的理解を図り、教科内容について理解する。</li> <li>・教職の意義及び教員の役割について理解するとともに、自ら教職キャリア形成を展望する。</li> <li>・教科内容を理解する。</li> <li>・ピアノや声楽、及び音楽理論やソルフェージュに加え音楽史の基礎的内容の学修を継続し、音楽科教育を学ぶための基礎力を向上させる。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育に関する理念・歴史、制度の理解、及び子どもの発達とその支援にむけた教育的働きかけについての基本的理解をはかる。</li> <li>・教育に関する理念・歴史・思想・制度について理解する。</li> <li>・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程と教育課程の意義及び編成の概要について理解する。</li> <li>・音楽科教育を学ぶための基礎力を向上させるとともに、作曲法の基礎を習得する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領ならびに教科外指導、生徒指導について理解する。</li> <li>・学習指導要領について理解する。</li> <li>・道徳教育の理論と方法、生徒指導について理解する。</li> <li>・小学校と中学校の科目内容の接続のためにどのような教育内容や教材研究をすればよいのかを理解する。</li> <li>・課題に基づく1単位あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・音楽の知識と技能両面の能力をさらに発展させるとともに、合唱や合奏の指導力を習得する。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科指導及び、カウンセリングに関する基礎的理解をはかり、基礎的教育実習を行う。</li> <li>・教科指導法について理解し、指導案作成力を育成する。</li> <li>・カウンセリングに関する基礎的理解をはかる。</li> <li>・教科に関する実験・実習・演習を通じ、教材研究能力の向上を中心に、基礎的教育実習むけての実践力を養う。</li> <li>・小学校と中学校の教科の相互指導のあり方を、具体的な教育内容に即して理解する。</li> <li>・課題に基づく1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・音楽の知識と技能の実践的能力を向上させるとともに、音楽科教育の理論と方法を身に付ける。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導、児童生徒の発達について、より発展的に理解する。</li> <li>・教育実習での授業実践を振り返り、明らかになった学習指導、教科指導に関する課題を設定する。</li> <li>・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。</li> <li>・音楽の知識と技能の実践的能力を更なる深化させるとともに、音楽科教育における実践力と応用力を身に付ける。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。</li> <li>・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習、実習を通じて補充・深化・統合を図る。</li> <li>・児童生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。</li> <li>・これまで学んできた音楽の専門的知識や技能を総合し、学校教育現場での実践力へと発展させる。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。</li> <li>・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。</li> <li>・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。</li> <li>・音楽および音楽教育に関する研究課題を明確にし、これまでの学修成果を統合した卒業研究をまとめる。</li> </ul>

## 様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（音楽））

## (2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	ソルフェージュ基礎	教育実践フィールド演習Ⅰ	日本国憲法	
		教育原理B(歴史・制度)	声楽基礎Ⅰ(伝統的な歌唱を含む)		体育実技Ⅰ	
		教育心理学A(学習)	ピアノ基礎Ⅰ		英語A	
		教育心理学B(発達)	音楽基礎理論		情報基礎概論	
		教職入門			情報基礎演習Ⅰ	
	後期	現代の教育と社会A	ソルフェージュ応用A		体育実技Ⅱ	
		現代の教育と社会B	ソルフェージュ応用B		英語B	
		中等音楽科指導法Ⅰ	声楽基礎Ⅱ			
			声楽基礎Ⅲ			
			ピアノ基礎Ⅱ			
			ピアノ基礎Ⅲ			
			器楽基礎(和楽器を含む)			
			音楽理論BⅠ			
			音楽史Ⅰ			
2年次	前期	中等音楽科指導法Ⅱ	ソルフェージュ展開Ⅰ		英語C	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	声楽展開Ⅰ			
		教育方法学	声楽基礎Ⅳ			
		教育とICT活用	ピアノ展開Ⅰ			
			ピアノ実技Ⅰ			
			音楽理論A			
			作曲法			
			日本・民族音楽概説			
	教育課程論	ソルフェージュ展開Ⅱ	教育統計Ⅰ	英語D		

	後期	道徳教育の理論	声楽展開Ⅱ			
		道徳教育の実践	声楽基礎Ⅴ			
		生徒指導と学校カウンセリング	合唱			
			ピアノ展開Ⅱ			
			ピアノ実技Ⅱ			
			器楽展開			
			合奏			
			音楽理論BⅡ			
			音楽史Ⅱ			
3年次	前期	中等音楽科指導法Ⅲ	声楽展開Ⅲ	教育実践フィールド演習Ⅱ		
		特別支援教育の基礎	声楽実技Ⅰ			
		特別支援教育の展開	ピアノ展開Ⅲ			
		教育相談とキャリア教育	ピアノ実技Ⅲ			
			伴奏法演習Ⅰ			
			指揮法Ⅰ			
			作曲演習Ⅰ			
			音楽学演習Ⅰ			
	後期	中等音楽科指導法Ⅳ	声楽展開Ⅳ	教育評価		
			声楽実技Ⅱ			
			ピアノ展開Ⅳ			
			ピアノ実技Ⅳ			
			日本伝統音楽実習			
			伴奏法演習Ⅱ			
			指揮法Ⅱ			
			作曲演習Ⅱ			
			音楽学演習Ⅱ			

4年次	前期	中学校教育実習Ⅰ	声楽展開Ⅴ			
		中学校教育実習Ⅱ	ピアノ展開Ⅴ			
		高等学校教育実習	器楽特別実習			
	後期	中学校教育実習Ⅰ	声楽課題研究			
		中学校教育実習Ⅱ	ピアノ課題研究			
		高等学校教育実習	音楽課題実践研究			
		教職実践演習(幼・小・中・高)				

## 様式第7号ウ

## ＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（音楽））

## （1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育についての基礎的理解を図る。</li> <li>・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法含む）について理解する。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（スポーツ・語学・情報）について理解する。</li> <li>・ピアノや声楽、及び音楽理論やソルフェージュなどの基礎的内容の学修を通じて、これから音楽科教育を学ぶための基礎力を身に付ける。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職についての基礎的理解を図り、教科内容について理解する。</li> <li>・教職の意義及び教員の役割について理解するとともに、自ら教職キャリア形成を展望する。</li> <li>・教科内容を理解する。</li> <li>・ピアノや声楽、及び音楽理論やソルフェージュに加え音楽史の基礎的内容の学修を継続し、音楽科教育を学ぶための基礎力を向上させる。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育に関する理念・歴史、制度の理解、及び子どもの発達とその支援にむけた教育的働きかけについての基本的理解をはかる。</li> <li>・教育に関する理念・歴史・思想・制度について理解する。</li> <li>・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程と教育課程の意義及び編成の概要について理解する。</li> <li>・音楽科教育を学ぶための基礎力を向上させるとともに、作曲法の基礎を習得する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領ならびに教科外指導、生徒指導について理解する。</li> <li>・学習指導要領について理解する。</li> <li>・道徳教育の理論と方法、生徒指導について理解する。</li> <li>・小学校と中学校の科目内容の接続のためにどのような教育内容や教材研究をすればよいのかを理解する。</li> <li>・課題に基づく1単位あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・音楽の知識と技能両面の能力をさらに発展させるとともに、合唱や合奏の指導力を習得する。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科指導及び、カウンセリングに関する基礎的理解をはかり、基礎的教育実習を行う。</li> <li>・教科指導法について理解し、指導案作成力を育成する。</li> <li>・カウンセリングに関する基礎的理解をはかる。</li> <li>・教科に関する実験・実習・演習を通じ、教材研究能力の向上を中心に、基礎的教育実習むけての実践力を養う。</li> <li>・小学校と中学校の教科の相互指導のあり方を、具体的な教育内容に即して理解する。</li> <li>・課題に基づく1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・音楽の知識と技能の実践的能力を更なる深化させるとともに、音楽科教育における実践力と応用力を身に付ける。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導、児童生徒の発達について、より発展的に理解する。</li> <li>・教育実習での授業実践を振り返り、明らかになった学習指導、教科指導に関する課題を設定する。</li> <li>・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。</li> <li>・音楽の知識と技能の実践的能力を更なる深化させるとともに、音楽科教育における実践力と応用力を身に付ける。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。</li> <li>・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習、実習を通じて補充・深化・統合を図る。</li> <li>・児童生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。</li> <li>・これまで学んできた音楽の専門的知識や技能を総合し、学校教育現場での実践力へと発展させる。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。</li> <li>・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。</li> <li>・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。</li> <li>・音楽および音楽教育に関する研究課題を明確にし、これまでの学修成果を統合した卒業研究をまとめる。</li> </ul>

## 様式第7号ウ（教諭）

&lt;教育学部共同教員養成課程&gt;（認定課程：高一種免（音楽））

## (2)具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	ソルフェージュ基礎	教育実践フィールド演習Ⅰ	日本国憲法	
		教育原理B(歴史・制度)	声楽基礎Ⅰ(伝統的な歌唱を含む)		体育実技Ⅰ	
		教育心理学A(学習)	ピアノ基礎Ⅰ		英語A	
		教育心理学B(発達)	音楽基礎理論		情報基礎概論	
		教職入門			情報基礎演習Ⅰ	
	後期	現代の教育と社会A	ソルフェージュ応用A		体育実技Ⅱ	
		現代の教育と社会B	ソルフェージュ応用B		英語B	
		中等音楽科指導法Ⅰ	声楽基礎Ⅱ			
			声楽基礎Ⅲ			
			ピアノ基礎Ⅱ			
			ピアノ基礎Ⅲ			
			器楽基礎(和楽器を含む)			
			音楽理論BⅠ			
			音楽史Ⅰ			
2年次	前期	中等音楽科指導法Ⅱ	ソルフェージュ展開Ⅰ		英語C	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	声楽展開Ⅰ			
		教育方法学	声楽基礎Ⅳ			
		教育とICT活用	ピアノ展開Ⅰ			
			ピアノ実技Ⅰ			
			音楽理論A			
			作曲法			
			日本・民族音楽概説			
	教育課程論	ソルフェージュ展開Ⅱ	教育統計Ⅰ	英語D		

後期	生徒指導と学校カウンセリング	声楽展開Ⅱ	道徳教育の理論			
		声楽基礎Ⅴ	道徳教育の実践			
		合唱				
		ピアノ展開Ⅱ				
		ピアノ実技Ⅱ				
		器楽展開				
		合奏				
		音楽理論BⅡ				
		音楽史Ⅱ				
3年次	前期					
		中等音楽科指導法Ⅲ	声楽展開Ⅲ	教育実践フィールド演習Ⅱ		
		特別支援教育の基礎	声楽実技Ⅰ			
		特別支援教育の展開	ピアノ展開Ⅲ			
		教育相談とキャリア教育	ピアノ実技Ⅲ			
		伴奏法演習Ⅰ				
		指揮法Ⅰ				
		作曲演習Ⅰ				
		音楽学演習Ⅰ				
後期	中等音楽科指導法Ⅳ	声楽展開Ⅳ	教育評価			
		声楽実技Ⅱ				
		ピアノ展開Ⅳ				
		ピアノ実技Ⅳ				
		日本伝統音楽実習				
		伴奏法演習Ⅱ				
		指揮法Ⅱ				
		作曲演習Ⅱ				
前期		音楽学演習Ⅱ				

4年次		中学校教育実習Ⅰ	声楽展開Ⅴ			
	後期	中学校教育実習Ⅱ	ピアノ展開Ⅴ			
		高等学校教育実習	器楽特別実習			
		中学校教育実習Ⅰ	声楽課題研究			
		中学校教育実習Ⅱ	ピアノ課題研究			

## 様式第7号ウ

## ＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（美術））

## （1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育についての基礎的理解を図る。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（語学、スポーツ科学）について理解する。</li> <li>・教職の意義や教師の役割、職務内容、生徒に対する責務を理解する。</li> <li>・幼児・児童、生徒の心身の発達について理解する。</li> <li>・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代教育に関する基礎的素養について理解する。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（語学、情報、スポーツ科学）について理解する。</li> <li>・美術科における教科内容の基礎について理解する。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法を含む）について理解する。</li> <li>・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法とその評価及び指導の実際について理解する。</li> <li>・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・学校教育におけるICT活用の具体的方法について理解する。</li> <li>・美術科における教科内容の基礎について理解する。</li> <li>・美術科指導法の目標・内容・方法・評価を理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の編成について、カリキュラムマネジメントの観点から理解する。</li> <li>・道徳教育に関する理論と指導法について理解する。</li> <li>・生徒指導とカウンセリングの方法に関する基礎的理解を図る。</li> <li>・美術科における教科内容の基礎について理解を深める。</li> <li>・美術科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を必要とする児童等に対応できる知識や技能を修得する。</li> <li>・特別支援教育の基礎について理解する。</li> <li>・教育相談の方法及び進路指導の方法について理解する。</li> <li>・美術科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。</li> <li>・美術科の授業についての認識を深め、模擬授業などを行って、教育実習に備える。</li> <li>・教育実習に取り組み、専門教科の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を実践できる。</li> <li>・美術科の教科内容について、専門的な知識・技能をさらに充実させる。</li> <li>・教育実習の体験と認識を深め、美術教員に求められる実践力と理論的基盤を結びつける。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。</li> <li>・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習等を通じて補充・深化・統合を図る。</li> <li>・生徒理解及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。</li> <li>・美術科の教科内容と指導法の理解をもとに、美術教員としての実践的指導力を身に付ける。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。</li> <li>・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。</li> <li>・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。</li> </ul>

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（美術））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	彫刻基礎	教育実践フィールド演習Ⅰ	日本国憲法	
		教育原理B(歴史・制度)	デザイン基礎Ⅰ		体育実技Ⅰ	
		教育心理学A(学習)	工芸基礎		英語A	
		教育心理学B(発達)			情報基礎概論	
		教職入門			情報基礎演習Ⅰ	
	後期	現代の教育と社会A	絵画基礎Ⅰ		体育実技Ⅱ	
		現代の教育と社会B			英語B	
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	絵画基礎Ⅱ		英語C	
		教育方法学	絵画演習Ⅱ			
		教育とICT活用	彫刻演習			
		中等美術科指導法Ⅰ	デザイン基礎Ⅱ			
		中等美術科指導法Ⅲ	デザイン演習Ⅱ			
			美術史概論			
	後期	教育課程論	絵画演習Ⅰ	教育統計Ⅰ	英語D	
		道徳教育の理論	絵画演習Ⅲ			
		道徳教育の実践	デザイン演習Ⅰ			
		生徒指導と学校カウンセリング	デザイン演習Ⅲ			
		中等美術科指導法Ⅱ	工芸演習			
中等美術科指導法Ⅳ		造形実践演習				
3年次	前期	特別支援教育の基礎		教育実践フィールド演習Ⅱ		
		特別支援教育の展開				
		教育相談とキャリア教育				
	後期			教育評価		
4年次	前期	中学校教育実習Ⅰ				
		中学校教育実習Ⅱ				
		高等学校教育実習				
	後期	中学校教育実習Ⅰ				
		中学校教育実習Ⅱ				
		高等学校教育実習				
		教職実践演習(幼・小・中・高)				

## 様式第7号ウ

## ＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（美術））

## (1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育についての基礎的理解を図る。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（語学、スポーツ科学）について理解する。</li> <li>・教職の意義や教師の役割、職務内容、生徒に対する責務を理解する。</li> <li>・幼児・児童、生徒の心身の発達について理解する。</li> <li>・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代教育に関する基礎的素養について理解する。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（語学、情報、スポーツ科学）について理解する。</li> <li>・美術科における教科内容の基礎について理解する。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法を含む）について理解する。</li> <li>・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法とその評価及び指導の実際について理解する。</li> <li>・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・学校教育におけるICT活用の具体的方法について理解する。</li> <li>・美術科における教科内容の基礎について理解する。</li> <li>・美術科指導法の目標・内容・方法・評価を理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の編成について、カリキュラムマネジメントの観点から理解する。</li> <li>・道徳教育に関する理論と指導法について理解する。</li> <li>・生徒指導とカウンセリングの方法に関する基礎的理解を図る。</li> <li>・美術科における教科内容の基礎について理解を深める。</li> <li>・美術科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を必要とする児童等に対応できる知識や技能を修得する。</li> <li>・特別支援教育の基礎について理解する。</li> <li>・教育相談の方法及び進路指導の方法について理解する。</li> <li>・美術科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。</li> <li>・美術科の授業についての認識を深め、模擬授業などを行って、教育実習に備える。</li> <li>・教育実習に取り組み、専門教科の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を実践できる。</li> <li>・美術科の教科内容について、専門的な知識・技能をさらに充実させる。</li> <li>・教育実習の体験と認識を深め、美術教員に求められる実践力と理論的基盤を結びつける。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。</li> <li>・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習等を通じて補充・深化・統合を図る。</li> <li>・生徒理解及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。</li> <li>・美術科の教科内容と指導法の理解をもとに、美術教員としての実践的指導力を身に付ける。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。</li> <li>・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。</li> <li>・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。</li> </ul>

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（美術））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	彫刻基礎	教育実践フィールド演習Ⅰ	日本国憲法	
		教育原理B(歴史・制度)	デザイン基礎Ⅰ		体育実技Ⅰ	
		教育心理学A(学習)			英語A	
		教育心理学B(発達)			情報基礎概論	
		教職入門			情報基礎演習Ⅰ	
	後期	現代の教育と社会A	絵画基礎Ⅰ		体育実技Ⅱ	
		現代の教育と社会B			英語B	
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	絵画基礎Ⅱ		英語C	
		教育方法学	絵画演習Ⅱ			
		教育とICT活用	彫刻演習			
		中等美術科指導法Ⅰ	デザイン基礎Ⅱ			
		中等美術科指導法Ⅲ	デザイン演習Ⅱ			
			美術史概論			
	後期	教育課程論	絵画演習Ⅰ	教育統計Ⅰ	英語D	
		生徒指導と学校カウンセリング	絵画演習Ⅲ	道徳教育の理論		
		中等美術科指導法Ⅱ	デザイン演習Ⅰ	道徳教育の実践		
		中等美術科指導法Ⅳ	デザイン演習Ⅲ			
			造形実践演習			
3年次	前期	特別支援教育の基礎		教育実践フィールド演習Ⅱ		
		特別支援教育の展開				
		教育相談とキャリア教育				
	後期			教育評価		
4年次	前期	中学校教育実習Ⅰ				
		中学校教育実習Ⅱ				
		高等学校教育実習				
	後期	中学校教育実習Ⅰ				
		中学校教育実習Ⅱ				
		高等学校教育実習				
		教職実践演習(幼・小・中・高)				

## 様式第7号ウ

## ＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（書道））

## (1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育についての基礎的理解を図る。</li> <li>・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法含む）について理解する。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（スポーツ・語学・情報）について理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職についての基礎的理解を図り、教科内容について理解する。</li> <li>・教職の意義及び教員の役割について理解するとともに、自ら教職キャリア形成を展望する。</li> <li>・教科内容を理解する。</li> <li>・日本語、日本文学、漢文学、書写等の教科内容の基礎について理解する。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育に関する理念・歴史、制度の理解、及び子どもの発達とその支援にむけた教育的働きかけについての基本的理解をはかる。</li> <li>・教育に関する理念・歴史・思想・制度について理解する。</li> <li>・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程と教育課程の意義及び編成の概要について理解する。</li> <li>・中等の授業実践について理解し、授業を行うための必要な知識やスキルを身につける。</li> <li>・教科指導の基礎を学び、教科内容の基礎と関連づけて理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領ならびに教科外指導、生徒指導について理解する。</li> <li>・学習指導要領について理解する。</li> <li>・道徳教育の理論と方法、生徒指導について理解する。</li> <li>・小学校と中学校の科目内容の接続のためにどのような教育内容や教材研究をすればよいのかを理解する。</li> <li>・課題に基づく1単位あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・教科指導の基礎を学び、教科内容の基礎と関連づけて理解する。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科指導及び、教育相談（カウンセリング含）に関する基礎的理解をはかり、教育実習にむけての準備を行う</li> <li>・教育相談（カウンセリング含）に関する基礎的理解をはかる。</li> <li>・教科に関する実験・実習・演習を通じ、教材研究能力の向上をはかる。</li> <li>・教育実習むけての実践力を養うために、中学校教育現場を体験する。</li> <li>・小学校と中学校の教科の相互指導のあり方を、具体的な教育内容に即して理解する。</li> <li>・課題に基づく1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・高等学校芸術科書道の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導、児童生徒の発達について、より発展的に理解する。</li> <li>・中学校教育現場での体験学習をもとに、学習指導、教科指導に関する課題を設定する。</li> <li>・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。</li> <li>・高等学校芸術科書道の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。</li> <li>・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習、実習を通じて補充・深化・統合を図る。</li> <li>・児童生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。</li> <li>・教育実習に取り組み、自他の実践を省察し、書道の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。</li> <li>・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。</li> <li>・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。</li> <li>・教育実習に取り組み、自他の実践を省察し、書道の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。</li> </ul>

## 様式第7号ウ（教諭）

&lt;教育学部共同教員養成課程&gt;（認定課程：高一種免（書道））

## （2）具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	書道Ⅰ	教育実践フィールド演習Ⅰ	日本国憲法	
		教育原理B(歴史・制度)	書道Ⅱ		体育実技Ⅰ	
		教育心理学A(学習)			英語A	
		教育心理学B(発達)			情報基礎概論	
		教職入門			情報基礎演習Ⅰ	
	後期	現代の教育と社会A	書写		体育実技Ⅱ	
現代の教育と社会B		書道史		英語B		
		書論・鑑賞				
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	国文学講義Ⅰ(古典)		英語C	
		教育方法学	国文学概説			
		教育とICT活用	国文学論			
			国文学演習Ⅰ			
			漢文学演習Ⅰ			
	後期	書道科教育法Ⅰ	書道Ⅲ	教育統計Ⅰ	英語D	
		教育課程論	書道Ⅳ			
		生徒指導と学校カウンセリング	国文学講読(古典)			
			国文学演習Ⅱ			
			漢文学概説Ⅰ			
			漢文学演習Ⅱ			
前期	書道科教育法Ⅱ	国文学講義Ⅱ(近現代)	教育実践フィールド演習Ⅱ			
	特別支援教育の基礎	国文学演習Ⅲ				
	特別支援教育の展開	漢文学概説Ⅱ				
	教育相談とキャリア教育					

3年次	後期		国文学演習Ⅳ	教育評価		
			国文学特別演習Ⅰ (近現代)			
			国文学特別演習Ⅱ (近現代)			
			漢文学演習Ⅲ			
			漢文学特別演習Ⅰ			
			漢文学特別演習Ⅱ			
4年次	前期	中学校教育実習Ⅰ				
		中学校教育実習Ⅱ				
		高等学校教育実習				
	後期	中学校教育実習Ⅰ				
		中学校教育実習Ⅱ				
		高等学校教育実習				
		教職実践演習(幼・ 小・中・高)				

## 様式第7号ウ

## ＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（保健体育））

## (1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育についての基礎的理解を図る。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（語学、スポーツ科学）について理解する。</li> <li>・教職の意義や教師の役割、職務内容、生徒に対する責務を理解する。</li> <li>・幼児・児童、生徒の心身の発達について理解する。</li> <li>・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。</li> <li>・保健体育科における教科内容の基礎について理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代教育に関する基礎的素養について理解する。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（語学、情報、スポーツ科学）について理解する。</li> <li>・英語のコミュニケーション能力とは何かを理解し、自律的学習を開始する。</li> <li>・保健体育科における教科内容の基礎について理解する。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法を含む）について理解する。</li> <li>・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法とその評価及び指導の実際について理解する。</li> <li>・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・学校教育におけるICT活用の具体的方法について理解する。</li> <li>・保健体育科における教科内容の基礎について理解を深める。</li> <li>・保健体育科指導法の目標・内容・方法・評価を理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の編成について、カリキュラムマネジメントの観点から理解する。</li> <li>・道徳教育に関する理論と指導法について理解する。</li> <li>・生徒指導とカウンセリングの方法に関する基礎的理解を図る。</li> <li>・保健体育科における教科内容の基礎について理解を深める。</li> <li>・保健体育科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を必要とする児童等に対応できる知識や技能を修得する。</li> <li>・特別支援教育の基礎について理解する。</li> <li>・教育相談の方法及び進路指導の方法について理解する。</li> <li>・保健体育科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。</li> <li>・保健体育科の授業についての認識を深め、模擬授業などを行って、教育実習に備える。</li> <li>・教育実習に取り組み、専門教科の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健体育科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を実践できる。</li> <li>・保健体育科の教科内容について、専門的な知識・技能をさらに充実させる。</li> <li>・教育実習の体験と認識を深め、保健体育教員に求められる実践力と理論的基盤を結びつける。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。</li> <li>・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習等を通じて補充・深化・統合を図る。</li> <li>・生徒理解及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。</li> <li>・保健体育科の教科内容と保健体育科指導法の理解をもとに、英語教員としての実践的指導力を身に付ける。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。</li> <li>・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。</li> <li>・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。</li> </ul>

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（保健体育））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	器械運動	教育実践フィールド演習Ⅰ	日本国憲法	
		教育原理B(歴史・制度)	水泳		体育実技Ⅰ	
		教育心理学A(学習)	陸上競技		英語A	
		教育心理学B(発達)	ネット型球技		情報基礎概論	
		教職入門	ベースボール型球技		情報基礎演習Ⅰ	
			ダンス			
			ヘルスプロモーション実習			
			体育経営管理学			
			生理学(運動生理学を含む)			
			解剖学			
		衛生・公衆衛生学				
	後期	現代の教育と社会A	ゴール型球技		体育実技Ⅱ	
		現代の教育と社会B	柔道		英語B	
			剣道			
		トレーニング科学				
		ヘルスプロモーション演習				
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	学校保健		英語C	
		教育方法学				
		教育とICT活用				
		中等保健体育科指導法Ⅰ				
	後期	教育課程論	体づくり運動	教育統計Ⅰ	英語D	
		道徳教育の理論	体育心理学			
		道徳教育の実践	生理学実験・演習			
		生徒指導と学校カウンセリング 中等保健体育科指導法Ⅱ				
3年次	前期	特別支援教育の基礎	野外活動	教育実践フィールド演習Ⅱ		
		特別支援教育の展開	運動学(バイオメカニクスを含む)			
		教育相談とキャリア教育	体育原理			
		中等保健体育科指導法Ⅲ	体育社会学			
			保健体育科課題研究Ⅰ			
	後期		保健体育科課題研究Ⅱ	教育評価		
			学校安全・救急処置			
前期	中学校教育実習Ⅰ					
	中学校教育実習Ⅱ					

4年次		高等学校教育実習				
	後期	中学校教育実習Ⅰ				
		中学校教育実習Ⅱ				
		高等学校教育実習				
		教職実践演習(幼・小・中・高)				

## 様式第7号ウ

## ＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（保健体育））

## (1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育についての基礎的理解を図る。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（語学、スポーツ科学）について理解する。</li> <li>・教職の意義や教師の役割、職務内容、生徒に対する責務を理解する。</li> <li>・幼児・児童、生徒の心身の発達について理解する。</li> <li>・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。</li> <li>・保健体育科における教科内容の基礎について理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代教育に関する基礎的素養について理解する。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（語学、情報、スポーツ科学）について理解する。</li> <li>・英語のコミュニケーション能力とは何かを理解し、自律的学習を開始する。</li> <li>・保健体育科における教科内容の基礎について理解する。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法を含む）について理解する。</li> <li>・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法とその評価及び指導の実際について理解する。</li> <li>・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・学校教育におけるICT活用の具体的方法について理解する。</li> <li>・保健体育科における教科内容の基礎について理解を深める。</li> <li>・保健体育科指導法の目標・内容・方法・評価を理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の編成について、カリキュラムマネジメントの観点から理解する。</li> <li>・道徳教育に関する理論と指導法について理解する。</li> <li>・生徒指導とカウンセリングの方法に関する基礎的理解を図る。</li> <li>・保健体育科における教科内容の基礎について理解を深める。</li> <li>・保健体育科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を必要とする児童等に対応できる知識や技能を修得する。</li> <li>・特別支援教育の基礎について理解する。</li> <li>・教育相談の方法及び進路指導の方法について理解する。</li> <li>・保健体育科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。</li> <li>・保健体育科の授業についての認識を深め、模擬授業などを行って、教育実習に備える。</li> <li>・教育実習に取り組み、専門教科の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健体育科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を実践できる。</li> <li>・保健体育科の教科内容について、専門的な知識・技能をさらに充実させる。</li> <li>・教育実習の体験と認識を深め、保健体育教員に求められる実践力と理論的基盤を結びつける。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。</li> <li>・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習等を通じて補充・深化・統合を図る。</li> <li>・生徒理解及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。</li> <li>・保健体育科の教科内容と保健体育科指導法の理解をもとに、英語教員としての実践的指導力を身に付ける。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。</li> <li>・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。</li> <li>・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。</li> </ul>

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（保健体育））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称					
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目	
年次	時期						
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	器械運動	教育実践フィールド演習Ⅰ	日本国憲法		
		教育原理B(歴史・制度)	水泳		体育実技Ⅰ		
		教育心理学A(学習)	陸上競技		英語A		
		教育心理学B(発達)	ネット型球技		情報基礎概論		
		教職入門	ベースボール型球技		情報基礎演習Ⅰ		
			ダンス				
			ヘルスプロモーション実習				
			体育経営管理学				
			生理学(運動生理学を含む)				
			解剖学				
		衛生・公衆衛生学					
		現代の教育と社会A	ゴール型球技		体育実技Ⅱ		
		現代の教育と社会B	柔道		英語B		
			剣道				
		トレーニング科学					
		ヘルスプロモーション演習					
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	学校保健		英語C		
		教育方法学					
		教育とICT活用					
		中等保健体育科指導法Ⅰ					
	後期	教育課程論	体づくり運動	教育統計Ⅰ	英語D		
		生徒指導と学校カウンセリング	体育心理学	道徳教育の理論			
中等保健体育科指導法Ⅱ		生理学実験・演習	道徳教育の実践				
3年次	前期	特別支援教育の基礎	野外活動	教育実践フィールド演習Ⅱ			
		特別支援教育の展開	運動学(バイオメカニクスを含む)				
		教育相談とキャリア教育	体育原理				
		中等保健体育科指導法Ⅲ	体育社会学				
			保健体育科課題研究Ⅰ				
	後期			保健体育科課題研究Ⅱ	教育評価		
				学校安全・救急処置			
前期	中学校教育実習Ⅰ						
	中学校教育実習Ⅱ						

4年次		高等学校教育実習				
	後期	中学校教育実習Ⅰ				
		中学校教育実習Ⅱ				
		高等学校教育実習				
		教職実践演習(幼・小・中・高)				

## 様式第7号ウ

## ＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（技術））

## （1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育についての基礎的理解を図る。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（語学、スポーツ科学）について理解する。</li> <li>・教職の意義や教師の役割、職務内容、生徒に対する責務を理解する。</li> <li>・幼児・児童、生徒の心身の発達について理解する。</li> <li>・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代教育に関する基礎的素養について理解する。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（語学、情報、スポーツ科学）について理解する。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法を含む）について理解する。</li> <li>・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法とその評価及び指導の実際について理解する。</li> <li>・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・学校教育におけるICT活用の具体的方法について理解する。</li> <li>・技術科における教科内容の基礎について理解する。</li> <li>・技術科指導法の目標・内容・方法・評価を理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の編成について、カリキュラムマネジメントの観点から理解する。</li> <li>・道徳教育に関する理論と指導法について理解する。</li> <li>・生徒指導とカウンセリングの方法に関する基礎的理解を図る。</li> <li>・技術科における教科内容の基礎について理解を深める。</li> <li>・技術科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を必要とする児童等に対応できる知識や技能を修得する。</li> <li>・特別支援教育の基礎について理解する。</li> <li>・教育相談の方法及び進路指導の方法について理解する。</li> <li>・技術科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。</li> <li>・技術科の授業についての認識を深め、模擬授業などを行って、教育実習に備える。</li> <li>・教育実習に取り組み、中学校専門教科の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を実践できる。</li> <li>・技術科の教科内容について、専門的な知識・技能をさらに充実させる。</li> <li>・教育実習の体験と認識を深め、技術教員に求められる実践力と理論的基盤を結びつける。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。</li> <li>・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習等を通じて補充・深化・統合を図る。</li> <li>・児童・生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。</li> <li>・技術科の教科内容と指導法の理解をもとに、技術教員としての実践的指導力を身に付ける。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。</li> <li>・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。</li> <li>・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。</li> </ul>

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中学校（技術）一種免許状）

(2)具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)		教育実践フィールド演習Ⅰ	日本国憲法	
		教育原理B(歴史・制度)			体育実技Ⅰ	
		教育心理学A(学習)			英語A	
		教育心理学B(発達)			情報基礎概論	
		教職入門			情報基礎演習Ⅰ	
	後期	現代の教育と社会A			体育実技Ⅱ	
		現代の教育と社会B			英語B	
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	金属加工Ⅰ(実習を含む)		英語C	
		教育方法学	金属加工Ⅱ			
		教育とICT活用	機械Ⅰ(実習を含む)			
			機械Ⅱ			
			電気Ⅰ(実習を含む)			
			電気Ⅱ			
			生物育成ⅠB(実習を含む)			
			生物育成実習			
			情報とコンピュータⅠ(実習を含む)			
			情報とコンピュータⅡ			
		情報とコンピュータ実習				
	後期	教育課程論	木材加工実習	教育統計Ⅰ	英語D	
		道徳教育の理論	製図Ⅰ(実習を含む)			
		道徳教育の実践	製図Ⅱ			
		生徒指導と学校カウンセリング	生物育成ⅠA(実習を含む)			
		中等技術科指導法Ⅰ	生物育成ⅡA			
			生物育成ⅡB			
3年次	前期	特別支援教育の基礎	木材加工Ⅰ(実習を含む)	教育実践フィールド演習Ⅱ		
		特別支援教育の展開	木材加工Ⅱ			
		教育相談とキャリア教育	プログラミング			
		中等技術科指導法Ⅳ				
	後期	中等技術科指導法Ⅱ	機械実習	教育評価		
		中等技術科指導法Ⅲ	電気実習			
4年次	前期	中学校教育実習Ⅰ				
		中学校教育実習Ⅱ				
		高等学校教育実習				
	後期	中学校教育実習Ⅰ				
		中学校教育実習Ⅱ				
		高等学校教育実習				
	教職実践演習(幼・小・中・高)					

## 様式第7号ウ

## ＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（家庭科））

## (1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育についての基礎的理解を図る。</li> <li>・現代教育に関する基礎的素養(日本国憲法含む)について理解する。</li> <li>・教職に関する基礎的素養(スポーツ・語学・情報)について理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職についての基礎的理解を図り、教科内容について理解する。</li> <li>・教職の意義及び教員の役割について理解するとともに、自ら教職キャリア形成を展望する。</li> <li>・教科内容を理解する。</li> <li>・被服学・食物学の基礎的知識を理解する。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育に関する理念・歴史、制度の理解、及び子どもの発達とその支援にむけた教育的働きかけについての基本的理解をはかる。</li> <li>・教育に関する理念・歴史・思想・制度について理解する。</li> <li>・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程と教育課程の意義及び編成の概要について理解する。</li> <li>・中等の授業実践について理解し、授業を行うための必要な知識やスキルを身につける。</li> <li>・中等家庭科指導法の基礎的な知識・技能を身につける。</li> <li>・家庭経営学・住居学・保育学の基礎的知識を理解する。</li> <li>・食物学・住居学の発展的・応用的知識を理解する。</li> <li>・被服学の実験実習では原理を理解するとともに、基礎的な知識・技能を身に付ける。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領ならびに教科外指導、生徒指導について理解する。</li> <li>・学習指導要領について理解する。</li> <li>・道徳教育の理論と方法、生徒指導について理解する。</li> <li>・中等家庭科指導法の発展的・応用的な知識・技能を身につける。</li> <li>・被服学の発展的・応用的知識を理解する。</li> <li>・食物学の実験実習では、原理を理解するとともに、基礎的な知識・技能を身に付ける。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科指導及び、教育相談(カウンセリング含)に関する基礎的理解をはかり、教育実習にむけての準備を行う</li> <li>・教育相談(カウンセリング含)に関する基礎的理解をはかる。</li> <li>・教科に関する実験・実習・演習を通じ、教材研究能力の向上をはかる。</li> <li>・教育実習むけての実践力を養うために、中学校教育現場を体験する。</li> <li>・課題に基づく1時間あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・中等家庭科指導法では、中等家庭科の諸問題についての課題解決力を身に付ける。</li> <li>・被服学の演習では、家庭生活の諸問題についての課題解決力を身に付ける。</li> <li>・住居学の発展的・応用的知識を理解する。</li> <li>・住居学の実験実習では原理を理解するとともに、基礎的な知識・技能を身に付ける。</li> <li>・食物学の実験実習では、理論を深めるとともに、発展的・応用的な知識や技能を身に付ける。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導、児童生徒の発達について、より発展的に理解する。</li> <li>・中学校教育現場での体験学習をもとに、学習指導、教科指導に関する課題を設定する。</li> <li>・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。</li> <li>・中等家庭科指導法では、中等家庭科の諸問題についての課題解決力を身に付ける。</li> <li>・家庭経営学の基礎的知識を理解する。</li> <li>・住居学の発展的・応用的知識を理解する。</li> <li>・家庭経営学・被服学・食物学・住居学・保育学の演習では、家庭生活の諸問題についての課題解決力を身に付ける。</li> <li>・実際の家庭生活における家庭経営学・被服学・食物学・住居学・保育学を理解するとともに、それらが教育実習で指導できるようにする。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。</li> <li>・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習、実習を通じて補充・深化・統合を図る。</li> <li>・児童生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。</li> <li>・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。</li> <li>・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。</li> </ul>

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（家庭科））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)		教育実践フィールド演習Ⅰ	日本国憲法	
		教育原理B(歴史・制度)			体育実技Ⅰ	
		教育心理学A(学習)			英語A	
		教育心理学B(発達)			情報基礎概論	
		教職入門			情報基礎演習Ⅰ	
	後期	現代の教育と社会A	被服学Ⅰ		体育実技Ⅱ	
	現代の教育と社会B	食物学Ⅰ		英語B		
2年次	前期	中等家庭科指導法Ⅰ	家政学原論		英語C	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	家族関係学			
		教育方法学	被服実習			
		教育とICT活用	食物学Ⅱ			
			住居学Ⅰ			
			保育学			
	後期	中等家庭科指導法Ⅱ	被服学Ⅱ	教育統計Ⅰ	英語D	
		教育課程論	食物学実験・実習Ⅰ			
		道徳教育の理論	食物学実験・実習Ⅱ			
		道徳教育の実践				
	生徒指導と学校カウンセリング					
前期	中等家庭科指導法Ⅲ	家庭経営学Ⅰ	教育実践フィールド演習Ⅱ			
	特別支援教育の基礎	家庭経営学Ⅱ				
	特別支援教育の展開	被服学演習Ⅰ				
	教育相談とキャリア教育	食物学実験・実習Ⅲ				
		住居学Ⅱ				
		住居計画学				

3年次	後期	中等家庭科指導法 IV	家庭経営学演習	教育評価		
			被服学演習Ⅱ			
			食物学演習			
			住居学Ⅲ			
			住居学演習			
			保育学演習Ⅰ			
			保育学演習Ⅱ			
4年次	前期	中学校教育実習Ⅰ				
		中学校教育実習Ⅱ				
		高等学校教育実習				
	後期	中学校教育実習Ⅰ				
		中学校教育実習Ⅱ				
		高等学校教育実習				
		教職実践演習(幼・ 小・中・高)				

## 様式第7号ウ

## ＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（家庭科））

## (1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育についての基礎的理解を図る。</li> <li>・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法含む）について理解する。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（スポーツ・語学・情報）について理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職についての基礎的理解を図り、教科内容について理解する。</li> <li>・教職の意義及び教員の役割について理解するとともに、自ら教職キャリア形成を展望する。</li> <li>・教科内容を理解する。</li> <li>・被服学・食物学の基礎的知識を理解する。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育に関する理念・歴史、制度の理解、及び子どもの発達とその支援にむけた教育的働きかけについての基本的理解をはかる。</li> <li>・教育に関する理念・歴史・思想・制度について理解する。</li> <li>・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程と教育課程の意義及び編成の概要について理解する。</li> <li>・中等の授業実践について理解し、授業を行うための必要な知識やスキルを身につける。</li> <li>・中等家庭科指導法の基礎的な知識・技能を身につける。</li> <li>・家庭経営学・住居学・保育学の基礎的知識を理解する。</li> <li>・食物学・住居学の発展的・応用的知識を理解する。</li> <li>・被服学の実験実習では原理を理解するとともに、基礎的な知識・技能を身に付ける。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領ならびに教科外指導、生徒指導について理解する。</li> <li>・学習指導要領について理解する。</li> <li>・道徳教育の理論と方法、生徒指導について理解する。</li> <li>・中等家庭科指導法の発展的・応用的な知識・技能を身につける。</li> <li>・被服学の発展的・応用的知識を理解する。</li> <li>・食物学の実験実習では、原理を理解するとともに、基礎的な知識・技能を身に付ける。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科指導及び、教育相談（カウンセリング含）に関する基礎的理解をはかり、教育実習にむけての準備を行う</li> <li>・教育相談（カウンセリング含）に関する基礎的理解をはかる。</li> <li>・教科に関する実験・実習・演習を通じ、教材研究能力の向上をはかる。</li> <li>・教育実習むけての実践力を養うために、中学校教育現場を体験する。</li> <li>・課題に基づく1時間あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・中等家庭科指導法では、中等家庭科の諸問題についての課題解決力を身に付ける。</li> <li>・被服学の演習では、家庭生活の諸問題についての課題解決力を身に付ける。</li> <li>・住居学の発展的・応用的知識を理解する。</li> <li>・住居学の実験実習では原理を理解するとともに、基礎的な知識・技能を身に付ける。</li> <li>・食物学の実験実習では、理論を深めるとともに、発展的・応用的な知識や技能を身に付ける。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導、児童生徒の発達について、より発展的に理解する。</li> <li>・中学校教育現場での体験学習をもとに、学習指導、教科指導に関する課題を設定する。</li> <li>・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。</li> <li>・中等家庭科指導法では、中等家庭科の諸問題についての課題解決力を身に付ける。</li> <li>・家庭経営学の基礎的知識を理解する。</li> <li>・住居学の発展的・応用的知識を理解する。</li> <li>・家庭経営学・被服学・食物学・住居学・保育学の演習では、家庭生活の諸問題についての課題解決力を身に付ける。</li> <li>・実際の家庭生活における家庭経営学・被服学・食物学・住居学・保育学を理解するとともに、それらが教育実習で指導できるようにする。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。</li> <li>・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習、実習を通じて補充・深化・統合を図る。</li> <li>・児童生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。</li> <li>・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。</li> <li>・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。</li> </ul>

## 様式第7号ウ（教諭）

&lt;教育学部共同教員養成課程&gt;（認定課程：高一種免（家庭科））

## (2)具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)		教育実践フィールド演習Ⅰ	日本国憲法	
		教育原理B(歴史・制度)			体育実技Ⅰ	
		教育心理学A(学習)			英語A	
		教育心理学B(発達)			情報基礎概論	
		教職入門			情報基礎演習Ⅰ	
	後期	現代の教育と社会A	被服学Ⅰ		体育実技Ⅱ	
	現代の教育と社会B	食物学Ⅰ		英語B		
2年次	前期	中等家庭科指導法Ⅰ	家政学原論		英語C	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	家族関係学			
		教育方法学	被服実習			
		教育とICT活用	食物学Ⅱ			
			住居学Ⅰ			
			保育学			
	後期	中等家庭科指導法Ⅱ	被服学Ⅱ	教育統計Ⅰ	英語D	
		教育課程論	食物学実験・実習Ⅰ	道徳教育の理論		
		生徒指導と学校カウンセリング	食物学実験・実習Ⅱ	道徳教育の実践		
前期	中等家庭科指導法Ⅲ	家庭経営学Ⅰ	教育実践フィールド演習Ⅱ			
	特別支援教育の基礎	家庭経営学Ⅱ				
	特別支援教育の展開	被服学演習Ⅰ				
	教育相談とキャリア教育	食物学実験・実習Ⅲ				
		住居学Ⅱ				
		住居計画学				

3年次	後期	中等家庭科指導法 IV	家庭経営学演習	教育評価		
			被服学演習Ⅱ			
			食物学演習			
			住居学Ⅲ			
			住居学演習			
			保育学演習Ⅰ			
			保育学演習Ⅱ			
4年次	前期	中学校教育実習Ⅰ				
		中学校教育実習Ⅱ				
		高等学校教育実習				
	後期	中学校教育実習Ⅰ				
		中学校教育実習Ⅱ				
		高等学校教育実習				
		教職実践演習(幼・ 小・中・高)				

## 様式第7号ウ

## ＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（工業））

## （1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育についての基礎的理解を図る。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（語学、スポーツ科学）について理解する。</li> <li>・教職の意義や教師の役割、職務内容、生徒に対する責務を理解する。</li> <li>・幼児・児童、生徒の心身の発達について理解する。</li> <li>・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代教育に関する基礎的素養について理解する。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（語学、情報、スポーツ科学）について理解する。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法を含む）について理解する。</li> <li>・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法とその評価及び指導の実際について理解する。</li> <li>・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・学校教育におけるICT活用の具体的方法について理解する。</li> <li>・工業科における教科内容の基礎について理解する。</li> <li>・工業科指導法の目標・内容・方法・評価を理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の編成について、カリキュラムマネジメントの観点から理解する。</li> <li>・道徳教育に関する理論と指導法について理解する。</li> <li>・生徒指導とカウンセリングの方法に関する基礎的理解を図る。</li> <li>・工業科における教科内容の基礎について理解を深める。</li> <li>・工業科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を必要とする児童等に対応できる知識や技能を修得する。</li> <li>・特別支援教育の基礎について理解する。</li> <li>・教育相談の方法及び進路指導の方法について理解する。</li> <li>・工業科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。</li> <li>・工業科の授業についての認識を深め、模擬授業などを行って、教育実習に備える。</li> <li>・教育実習に取り組み、中学校専門教科の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工業科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を実践できる。</li> <li>・工業科の教科内容について、専門的な知識・技能をさらに充実させる。</li> <li>・教育実習の体験と認識を深め、工業科教員に求められる実践力と理論的基盤を結びつける。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。</li> <li>・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習等を通じて補充・深化・統合を図る。</li> <li>・児童・生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。</li> <li>・工業科の教科内容と指導法の理解をもとに、工業科教員としての実践的指導力を身に付ける。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。</li> <li>・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。</li> <li>・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。</li> </ul>

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（工業））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)		教育実践フィールド演習Ⅰ	日本国憲法	
		教育原理B(歴史・制度)			体育実技Ⅰ	
		教育心理学A(学習)			英語A	
		教育心理学B(発達)			情報基礎概論	
		教職入門			情報基礎演習Ⅰ	
	後期	現代の教育と社会A			体育実技Ⅱ	
		現代の教育と社会B			英語B	
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	金属加工Ⅰ(実習を含む)		英語C	
		教育方法学	金属加工Ⅱ			
		教育とICT活用	機械Ⅰ(実習を含む)			
			機械Ⅱ			
			電気Ⅰ(実習を含む)			
			電気Ⅱ			
			情報とコンピュータⅠ(実習を含む)			
			情報とコンピュータⅡ			
		情報とコンピュータ実習				
	後期	教育課程論	木材加工実習	教育統計Ⅰ	英語D	
		生徒指導と学校カウンセリング	製図Ⅰ(実習を含む)	道徳教育の理論		
			製図Ⅱ	道徳教育の実践		
3年次	前期	特別支援教育の基礎	木材加工Ⅰ(実習を含む)	教育実践フィールド演習Ⅱ		
		特別支援教育の展開	木材加工Ⅱ			
		教育相談とキャリア教育	プログラミング			
	後期	工業科指導法Ⅰ	機械実習	教育評価		
			電気実習			
		職業指導				
4年次	前期	中学校教育実習Ⅰ				
		中学校教育実習Ⅱ				
		高等学校教育実習				
	後期	中学校教育実習Ⅰ				

後期	中学校教育実習Ⅱ				
	高等学校教育実習				
	教職実践演習(幼・小・中・高)				
	工業科指導法Ⅱ				

## 様式第7号ウ

## ＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（英語））

## （1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育についての基礎的理解を図る。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（語学、スポーツ科学）について理解する。</li> <li>・教職の意義や教師の役割、職務内容、生徒に対する責務を理解する。</li> <li>・幼児・児童、生徒の心身の発達について理解する。</li> <li>・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代教育に関する基礎的素養について理解する。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（語学、情報、スポーツ科学）について理解する。</li> <li>・英語のコミュニケーション能力とは何かを理解し、自律的学習を開始する。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法を含む）について理解する。</li> <li>・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法とその評価及び指導の実際について理解する。</li> <li>・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・学校教育におけるICT活用の具体的方法について理解する。</li> <li>・英語科における教科内容の基礎について理解する。</li> <li>・英語科指導法の目標・内容・方法・評価を理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の編成について、カリキュラムマネジメントの観点から理解する。</li> <li>・道徳教育に関する理論と指導法について理解する。</li> <li>・生徒指導とカウンセリングの方法に関する基礎的理解を図る。</li> <li>・英語科における教科内容の基礎について理解を深める。</li> <li>・英語科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を必要とする児童等に対応できる知識や技能を修得する。</li> <li>・特別支援教育の基礎について理解する。</li> <li>・教育相談の方法及び進路指導の方法について理解する。</li> <li>・英語科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。</li> <li>・英語科の授業についての認識を深め、模擬授業などを行って、教育実習に備える。</li> <li>・教育実習に取り組み、専門教科の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を実践できる。</li> <li>・英語科の教科内容について、専門的な知識・技能をさらに充実させる。</li> <li>・教育実習の体験と認識を深め、英語教員に求められる実践力と理論的基盤を結びつける。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。</li> <li>・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習等を通じて補充・深化・統合を図る。</li> <li>・生徒理解及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。</li> <li>・英語科の教科内容と英語科指導法の理解をもとに、英語教員としての実践的指導力を身に付ける。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。</li> <li>・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。</li> <li>・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。</li> </ul>

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：中一種免（英語））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	英語文学講読Ⅰ	教育実践フィールド演習Ⅰ	日本国憲法	
		教育原理B(歴史・制度)	英語オーラルコミュニケーションⅠ		体育実技Ⅰ	
		教育心理学A(学習)			英語A	
		教育心理学B(発達)			情報基礎概論	
		教職入門			情報基礎演習Ⅰ	
	後期	現代の教育と社会A	英語音声学演習		体育実技Ⅱ	
		現代の教育と社会B	英語文学講読Ⅱ		英語B	
			英語コミュニケーション論			
			英会話			
			英語オーラルコミュニケーションⅡ			
		異文化理解演習Ⅰ				
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	英語音声学		英語C	
		教育方法学	英語学			
		教育とICT活用	英語アカデミックスピーキングⅠ			
		中等英語科指導法Ⅰ	英米文化事情Ⅰ			
	後期	教育課程論	英語学演習	教育統計Ⅰ	英語D	
		道德教育の理論	第二言語習得論			
		道德教育の実践	英語アカデミックライティング			
		生徒指導と学校カウンセリング	英米文化事情Ⅱ			
		中等英語科指導法Ⅱ	異文化理解演習Ⅱ			
3年次	前期	特別支援教育の基礎	英語文学概論	教育実践フィールド演習Ⅱ		
		特別支援教育の展開	英語文学演習Ⅰ			
		教育相談とキャリア教育	英語アカデミックスピーキングⅡ			
		中等英語科指導法Ⅲ				
	後期	中等英語科指導法Ⅳ	英文法演習	教育評価		
		英語科教育課題研究	英語学課題研究			
			英語文学演習Ⅱ			
			英語文学特論			
			英米文学課題研究			
			異文化理解			
		異文化理解論Ⅰ				
		異文化理解論Ⅱ				
	前期	中学校教育実習Ⅰ				
		中学校教育実習Ⅱ				

4年次		高等学校教育実習				
	後期	中学校教育実習Ⅰ				
		中学校教育実習Ⅱ				
		高等学校教育実習				
		教職実践演習(幼・小・中・高)				

## 様式第7号ウ

## ＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（英語））

## （1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育についての基礎的理解を図る。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（語学、スポーツ科学）について理解する。</li> <li>・教職の意義や教師の役割、職務内容、生徒に対する責務を理解する。</li> <li>・幼児・児童、生徒の心身の発達について理解する。</li> <li>・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代教育に関する基礎的素養について理解する。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（語学、情報、スポーツ科学）について理解する。</li> <li>・英語のコミュニケーション能力とは何かを理解し、自律的学習を開始する。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法を含む）について理解する。</li> <li>・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法とその評価及び指導の実際について理解する。</li> <li>・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・学校教育におけるICT活用の具体的方法について理解する。</li> <li>・英語科における教科内容の基礎について理解する。</li> <li>・英語科指導法の目標・内容・方法・評価を理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の編成について、カリキュラムマネジメントの観点から理解する。</li> <li>・道徳教育に関する理論と指導法について理解する。</li> <li>・生徒指導とカウンセリングの方法に関する基礎的理解を図る。</li> <li>・英語科における教科内容の基礎について理解を深める。</li> <li>・英語科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を必要とする児童等に対応できる知識や技能を修得する。</li> <li>・特別支援教育の基礎について理解する。</li> <li>・教育相談の方法及び進路指導の方法について理解する。</li> <li>・英語科の教科内容についてさらに深く学び、応用的な知識を身に付ける。</li> <li>・英語科の授業についての認識を深め、模擬授業などを行って、教育実習に備える。</li> <li>・教育実習に取り組み、専門教科の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語科指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を実践できる。</li> <li>・英語科の教科内容について、専門的な知識・技能をさらに充実させる。</li> <li>・教育実習の体験と認識を深め、英語教員に求められる実践力と理論的基盤を結びつける。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。</li> <li>・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習等を通じて補充・深化・統合を図る。</li> <li>・生徒理解及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。</li> <li>・英語科の教科内容と英語科指導法の理解をもとに、英語教員としての実践的指導力を身に付ける。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。</li> <li>・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。</li> <li>・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。</li> </ul>

様式第7号ウ（教諭）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：高一種免（英語））

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	英語文学講読Ⅰ	教育実践フィールド演習Ⅰ	日本国憲法	
		教育原理B(歴史・制度)	英語オーラルコミュニケーションⅠ		体育実技Ⅰ	
		教育心理学A(学習)			英語A	
		教育心理学B(発達)			情報基礎概論	
		教職入門			情報基礎演習Ⅰ	
	後期	現代の教育と社会A	英語音声学演習		体育実技Ⅱ	
		現代の教育と社会B	英語文学講読Ⅱ		英語B	
			英語コミュニケーション論			
			英会話			
			英語オーラルコミュニケーションⅡ			
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	英語音声学		英語C	
		教育方法学	英語学			
		教育とICT活用	英語アカデミックスピーキングⅠ			
		中等英語科指導法Ⅰ	英米文化事情Ⅰ			
	後期	教育課程論	英語学演習	教育統計Ⅰ	英語D	
		生徒指導と学校カウンセリング	第二言語習得論	道徳教育の理論		
		中等英語科指導法Ⅱ	英語アカデミックライティング	道徳教育の実践		
			英米文化事情Ⅱ			
			異文化理解演習Ⅱ			
3年次	前期	特別支援教育の基礎	英語文学概論	教育実践フィールド演習Ⅱ		
		特別支援教育の展開	英語文学演習Ⅰ			
		教育相談とキャリア教育	英語アカデミックスピーキングⅡ			
		中等英語科指導法Ⅲ				
	後期	中等英語科指導法Ⅳ	英文法演習	教育評価		
		英語科教育課題研究	英語学課題研究			
			英語文学演習Ⅱ			
			英語文学特論			
			英米文学課題研究			
			異文化理解			
前期	中学校教育実習Ⅰ					
	中学校教育実習Ⅱ					

4年次		高等学校教育実習				
	後期	中学校教育実習Ⅰ				
		中学校教育実習Ⅱ				
		高等学校教育実習				
		教職実践演習(幼・小・中・高)				

## 様式第7号ウ

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：特支一種免（知・肢・病））（基礎免許状となる課程：小-

## (1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育についての基礎的理解を図る。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（語学、スポーツ科学）について理解する。</li> <li>・教職の意義や教師の役割、職務内容、生徒に対する責務を理解する。</li> <li>・幼児・児童、生徒の心身の発達について理解する。</li> <li>・国語、音楽の小学校教科内容の基礎について理解する</li> <li>・教育に関する理念・歴史・思想について理解する。</li> <li>・特別支援教育の基礎について理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代教育に関する基礎的素養について理解する。</li> <li>・教職に関する基礎的素養（語学、情報、スポーツ科学）について理解する。</li> <li>・外国語、家庭科の小学校教科内容の基礎について理解する。</li> <li>・小学校の国語、音楽の指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。</li> <li>・知的障害児教育について基礎的知識を理解する。</li> <li>・肢体不自由児の心理・生理・病理及び肢体不自由教育に関する基礎的知識を理解する。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代教育に関する基礎的素養（日本国憲法を含む）について理解する。</li> <li>・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法とその評価及び指導の実際について理解する。</li> <li>・教科に関する1単元あたりの授業の指導案の作成と授業開発をすることができる。</li> <li>・学校教育におけるICT活用の具体的方法について理解する。</li> <li>・算数、体育、書写、生活の小学校教科内容について理解する。</li> <li>・小学校の外国語、家庭科の指導法の目標・内容・方法・評価を理解し、学習指導を構想する。</li> <li>・知的障害児の心理・生理・病理について基礎的知識を理解する。</li> <li>・肢体不自由児への支援及び学習指導を行うことができる知識や技能を修得する。</li> <li>・病弱児の心理・生理・病理及び病弱児教育に関する基礎的知識を理解する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の編成について、カリキュラムマネジメントの観点から理解する。</li> <li>・道徳教育に関する理論と指導法について理解する。</li> <li>・生徒指導とカウンセリングの方法に関する基礎的理解を図る。</li> <li>・社会、理科、図画工作の小学校教科内容について理解する。</li> <li>・小学校の算数、体育、生活科の指導法の目標・内容・評価を理解し、学習指導を構想する。</li> <li>・発達障害の特性や支援・指導法に関する基礎的知識を理解する。</li> <li>・病弱児への支援及び学習指導を行うことができる知識や技能を修得する。</li> <li>・重複障害のある子どもの特性や支援・指導法に関する基礎的知識を理解する。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を必要とする児童等に対応できる知識や技能を修得する。</li> <li>・教育相談の方法及び進路指導の方法について理解する。</li> <li>・小学校の社会、理科、図画工作の指導法の目標・内容・評価を理解し、学習指導を構想する。</li> <li>・知的障害児に対する支援及び学習指導を行うことができる知識や技能を修得する。</li> <li>・知的障害児に対するアセスメントの具体的方法について理解する。</li> <li>・特別支援学校での教育実習を経験し、目標・内容・方法・評価のあり方を理解し、具体的な指導内容を構想、実施する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代的教育課題に関する探究学習を通じ、学校教育の先端的取り組みの内容や課題について理解する。</li> <li>・教科に関するより専門的な考察を実施することで、学習指導、教科指導をより発展的に理解する。</li> <li>・発達障害について最新の研究知見に基づいた脳科学の知見を学ぶ。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員としての資質能力を補充・深化・統合する。</li> <li>・教員としての資質をさらに発展させるために、講義、演習等を通じて補充・深化・統合を図る。</li> <li>・児童・生徒及び学級経営の発展的な理解をもとに、自己の問題意識を深める。</li> <li>・小学校での教育実習を通じ、小学校各教科の教育内容や教育方法の持続的・発展的な深化を図る。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己課題・現代的教育課題について自律的に取り組む。</li> <li>・自己の問題意識に基づき、現代的教育課題と関連させながら、自律的に追及する。</li> <li>・これからの学校教育と自己の課題について、集団的な議論を踏まえ、自己課題を追求する。</li> </ul>

様式第7号ウ（特支）

＜教育学部共同教員養成課程＞（認定課程：特支一種免（知・肢・病））（基礎免許状となる課程：小一種免）

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次	具体的な科目名称						
	基礎となる教諭の免許状に関する履修カリキュラム				特別支援教諭免許状に関する履修カリキュラム	その他教職課程に関連のある科目	
年次	時期	教育の基礎的理解に関する科目等	教科(領域)に関する専門的事項	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	特別支援教育に関する科目	
1年次	前期	教育原理A(理念及び思想)	初等国語	教育実践フィールド演習Ⅰ	日本国憲法	特別支援教育基礎論	
		教育原理B(歴史・制度)	初等音楽		体育実技Ⅰ	視覚障害児の心理・生理・病理	
		教育心理学A(学習)	小学音楽実技(ピアノ)		英語A		
		教育心理学B(発達)	小学音楽実技(声楽)		情報基礎概論		
		教職入門			情報基礎演習Ⅰ		
	後期	現代の教育と社会A	初等家庭		体育実技Ⅱ	肢体不自由児の心理・生理・病理	
		現代の教育と社会B	初等外国語		英語B	肢体不自由児教育総論	
		初等国語科指導法Ⅰ				知的障害児教育総論	
		初等国語科指導法Ⅱ					
		初等音楽科指導法Ⅰ					
		初等音楽科指導法Ⅱ					
2年次	前期	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	初等書写	熊本・学びの最前線	英語C	知的障害児の心理・生理・病理	
		教育方法学	初等算数			病弱児の心理・生理・病理	
		教育とICT活用	初等生活			肢体不自由児指導法	
		初等外国語指導法Ⅰ	初等体育			病弱児教育総論	
		初等外国語指導法Ⅱ					
		初等家庭科指導法Ⅰ					
		初等家庭科指導法Ⅱ					
	後期	教育課程論	初等社会	幼小連携・小中連携教育論	英語D	病弱児指導法	
		道德教育の理論	初等理科	LD等学習指導法		発達障害児教育総論	
		道德教育の実践	初等図画工作	大学生の道德・倫理		重複・視覚・聴覚障害児教育総論	
		生徒指導と学校カウンセリング		教育統計			
		初等算数科指導法Ⅰ					
		初等算数科指導法Ⅱ					
		体育科指導法Ⅰ					
		体育科指導法Ⅱ					
		生活科指導法Ⅰ					
		生活科指導法Ⅱ					
	特別支援教育の基礎		教育実践フィールド演習Ⅱ		特別支援教育研究法		
	特別支援教育の展開				知的障害児指導法		
	教育相談とキャリア教育				知的障害児アセスメント論		

3年次	前期	図画工作科指導法 I					
		図画工作科指導法 II					
		初等社会科指導法 I					
		初等理科指導法 I					
		初等社会科指導法 II					
		初等理科指導法 II					
		小学校教育実習 I					
		小学校教育実習 II					
	後期	小学校教育実習 I		教育評価		発達障害児脳科学論	
		小学校教育実習 II		人権教育論		聴覚障害児の心理・生理・病理	
				学校経営学		障害児行動分析学	
						障害児教育実習	
	4年次	前期				ギフティッド・2E教育論	
		後期	教職実践演習(幼・小・中・高)		教職保健		